

# I. 調査の概要

## 1. 調査目的

団塊世代の大量退職が 2007 年問題としてクローズアップされる中、本県にとっても、団塊世代の豊富な経験や知識を、地域社会の発展に活かしていくことが重要な課題となっている。

本調査は、近い将来退職を迎える『団塊世代従業者』の意識(「定年後の生活」、「ボランティア・NPOなどの社会活動への考え方」、「要望事項」など)を幅広く調査し、今後のボランティア振興の諸施策に活かしていくことを目的とする。

## 2. 調査対象

富山県内企業等に勤務する団塊世代(昭和 22 年～24 年生まれ)

## 3. 調査方法

アンケートへの協力を了解いただいた県内 42 事業所(県を含む)へアンケート票を送付し、団塊世代従業者へのアンケート票の配布・記入・回収を依頼。

(協力をお願いしたのは、男女共同参画チーフ・オフィサー(CGEO)設置事業所)

【回答アンケート票(記入者本人が返信用封筒に封入)を企業担当者がとりまとめて県へ返送】

## 4. 調査時期

平成 19 年 8 月

## 5. 調査機関

財団法人 北陸経済研究所

## 6. 回収状況

アンケート票送付総数 1,098 有効回答数 938 (回答率 85.4%)

## Ⅱ. 回答者の属性

### 1. 回答者の性別

	件数	構成比 %
男性	653	69.6
女性	261	27.8
無回答	24	2.6
合計	938	100

<参考：男女別回答者の属性>

#### (1) 業種

上段：件数、下段：構成比%

	合計	土木・ 建設業	製造業	電気・ ガス	情報通 信業	卸売・ 小売業	運輸業	金融・ 保険業	不動産 業	サービ ス業	官公庁	その他	無回答
男性	653	6	296	10	20	20	38	133	-	25	79	16	10
	100	0.9	45.3	1.5	3.1	3.1	5.8	20.4	-	3.8	12.1	2.5	1.5
女性	261	1	141	3	5	5	1	12	1	36	13	26	17
	100	0.4	54.0	1.1	1.9	1.9	0.4	4.6	0.4	13.8	5.0	10.0	6.5
無回答	24	1	4	-	-	3	-	4	-	5	-	2	5
	100	4.2	16.7	-	-	12.5	-	16.7	-	20.8	-	8.3	20.8

#### (2) 仕事の種類

上段：件数、下段：構成比%

	合計	事務	営業	生産・技術	その他	無回答
男性	653	194	75	266	98	20
	100	29.7	11.5	40.7	15.0	3.1
女性	261	50	2	110	74	25
	100	19.2	0.8	42.1	28.4	9.6
無回答	24	8	3	4	4	5
	100	33.3	12.5	16.7	16.7	20.8

#### (3) 役職

上段：件数、下段：構成比%

	合計	会社・団体 役員	管理職	一般職	無回答
男性	653	21	250	357	25
	100	3.2	38.3	54.7	3.8
女性	261	12	7	178	64
	100	4.6	2.7	68.2	24.5
無回答	24	2	5	11	6
	100	8.3	20.8	45.8	25.0

## 2. 回答者の年齢

	件数	構成比 %
昭和22年	195	20.8
昭和23年	307	32.7
昭和24年	357	38.1
昭和25年	31	3.3
その他	5	0.5
無回答	43	4.6
合計	938	100

## 3. 回答者の職業

### (1) 業種

	件数	構成比 %
土木・建設業	8	0.9
製造業	441	47.0
電気・ガス	13	1.4
情報通信業	25	2.7
卸売・小売業	28	3.0
運輸業	39	4.2
金融・保険業	149	15.9
不動産業	1	0.1
サービス業	66	7.0
官公庁	92	9.8
その他	44	4.7
無回答	32	3.4
合計	938	100

### (2) 仕事の種類

	件数	構成比 %
事務	252	26.9
営業	80	8.5
生産・技術	380	40.5
その他	176	18.8
無回答	50	5.3
合計	938	100

### (3) 役職

	件数	構成比 %
会社・団体役員	35	3.7
管理職	262	27.9
一般職	546	58.2
無回答	95	10.1
合計	938	100

## 4. 回答者の世帯構成

	件数	構成比 %
ひとり暮らし	46	4.9
一世代世帯(夫婦のみ)	216	23.0
二世帯世帯(親と同居)	219	23.3
二世帯世帯(子と同居)	273	29.1
三世帯世帯	151	16.1
その他	19	2.0
無回答	14	1.5
合計	938	100

## 5. 現在の居住地に住み始めてからの期間

	件数	構成比 %
30年以上	554	59.1
20年以上～30年未満	161	17.2
10年以上～20年未満	131	14.0
5年以上～10年未満	51	5.4
5年未満	33	3.5
無回答	8	0.9
合計	938	100

## 6. パソコン・インターネットの活用状況

### (1) パソコンの活用状況

	件数	構成比 %
よく使っている	339	36.1
たまに使っている	248	26.4
ほとんど使っていない	142	15.1
使ったことがない	196	20.9
無回答	13	1.4
合計	938	100

### (2) インターネットの活用状況

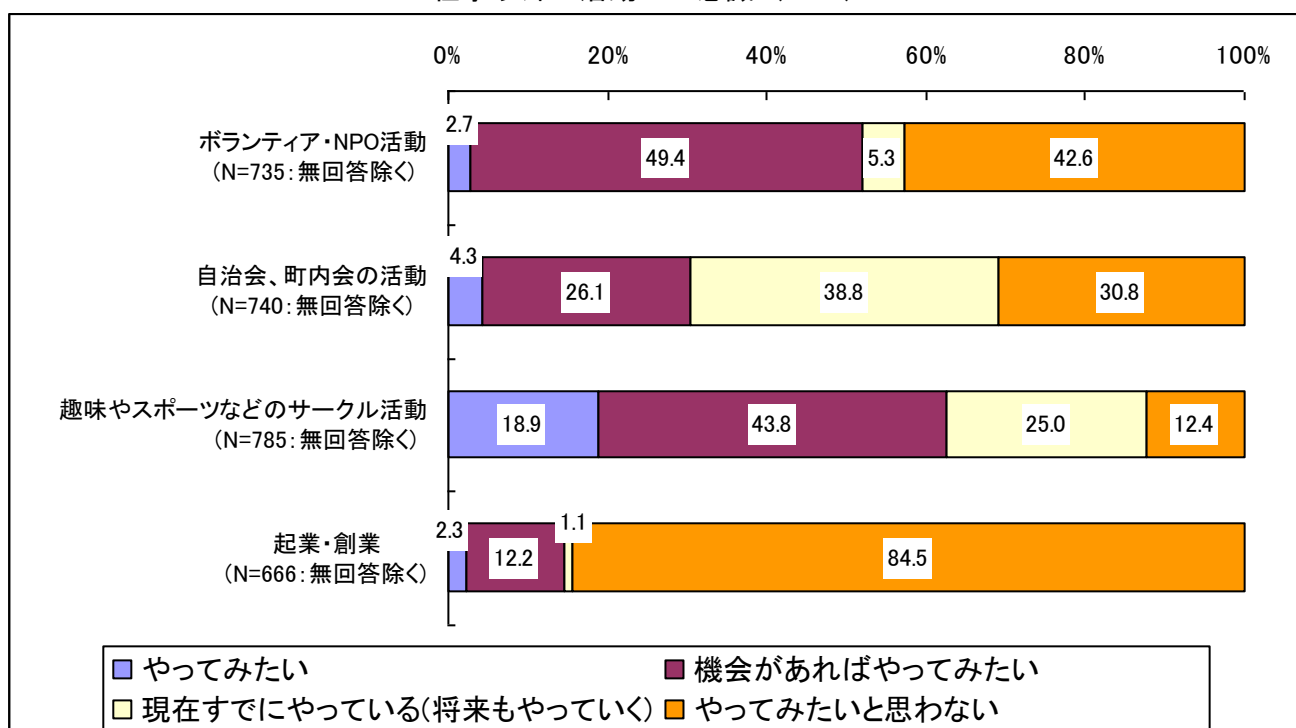
	件数	構成比 %
よく使っている	191	20.4
たまに使っている	261	27.8
ほとんど使っていない	130	13.9
使ったことがない	332	35.4
無回答	24	2.6
合計	938	100

### Ⅲ. 調査結果の概要

#### 1. 仕事以外の活動への意識

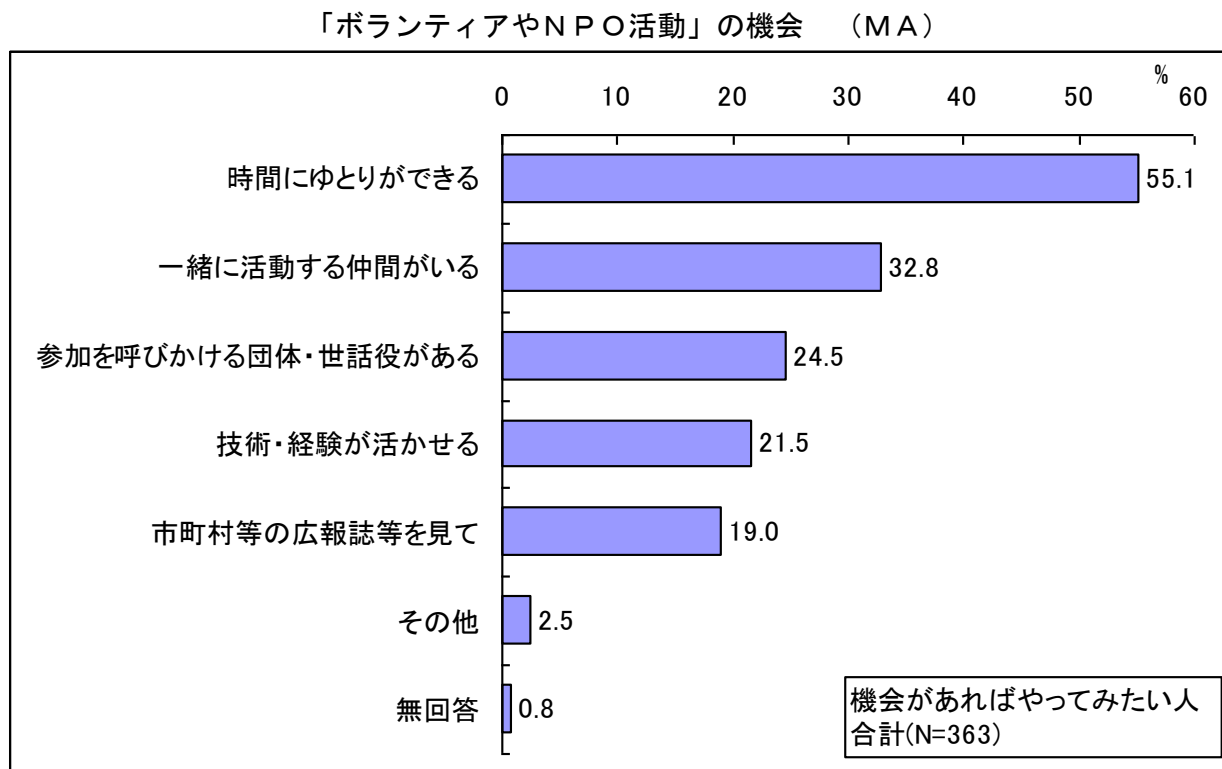
○仕事以外の活動について尋ねたところ、『ボランティア・NPO活動』を「現在すでにやっている」人が 5.3%と極めて少ないのに対し、今後「やってみたい」「機会があればやってみたい」を合わせて 52.1%の人が興味を示しており、『ボランティア・NPO活動』への関心は高いといえる。

仕事以外の活動への意識（SA）



## 2. 「ボランティアやNPO活動」の機会（きっかけ）

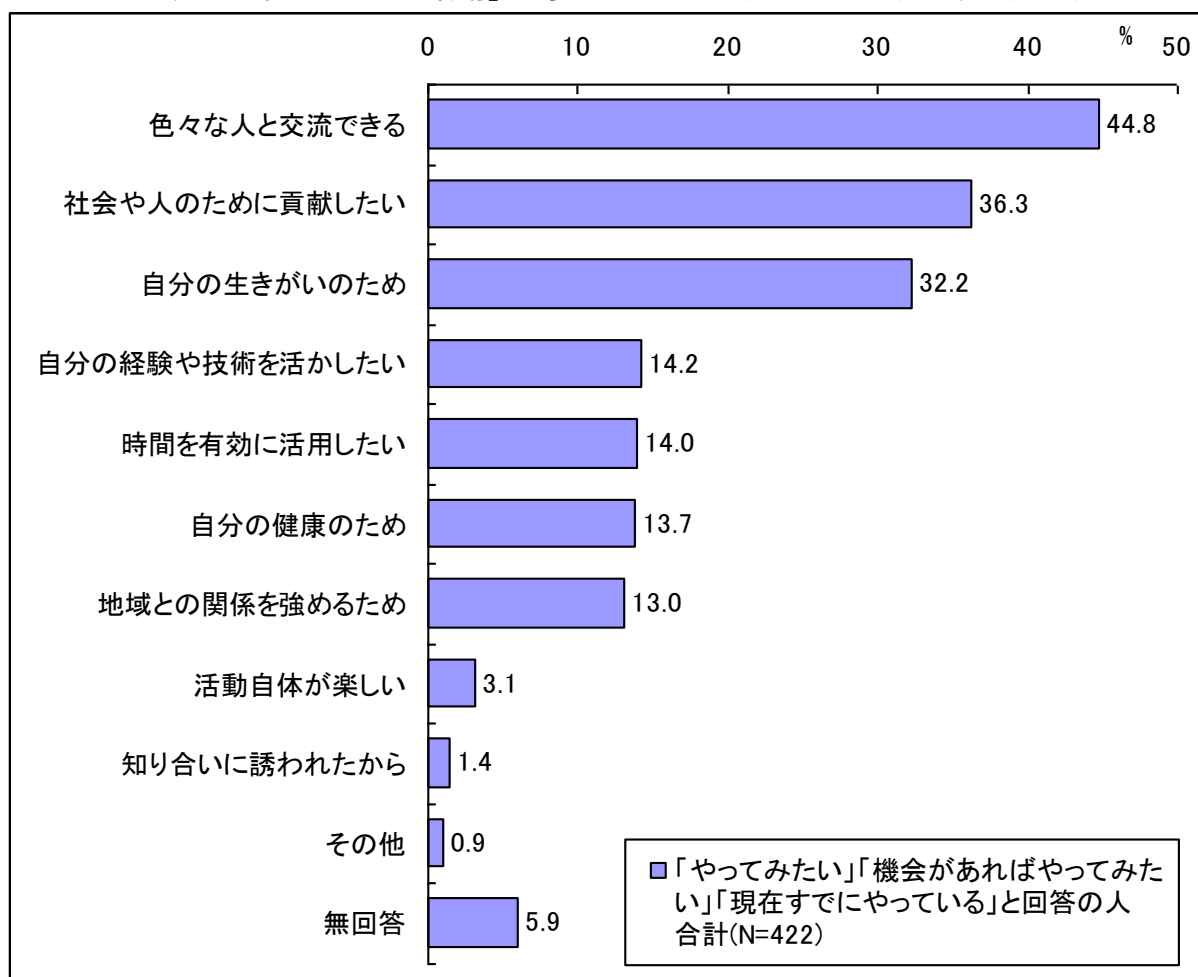
○「機会があればやってみたい」という人にその機会について尋ねたところ、「ボランティアやNPO活動」を始める機会は、「時間にゆとりができる」が55.1%と最も多いが、それ以外でも「一緒に活動する仲間がいる」が32.8%、「参加を呼びかける団体・世話役がある」が24.5%、「技術・経験が活かせる」が21.5%となっており、何らかのきっかけを求める人は多い。



### 3. 「ボランティアやNPO活動」に参加している（してみたい）理由

○「ボランティアやNPO活動」に参加している（してみたい）理由は、「色々な人と交流できる」が44.8%と最も多く、「社会や人のために貢献したい」「自分の生きがいのため」が30%を超えており、第二の人生での交流、自己実現、生きがいを求める人が多い。

「ボランティアやNPO活動」に参加している（してみたい）理由（MA）

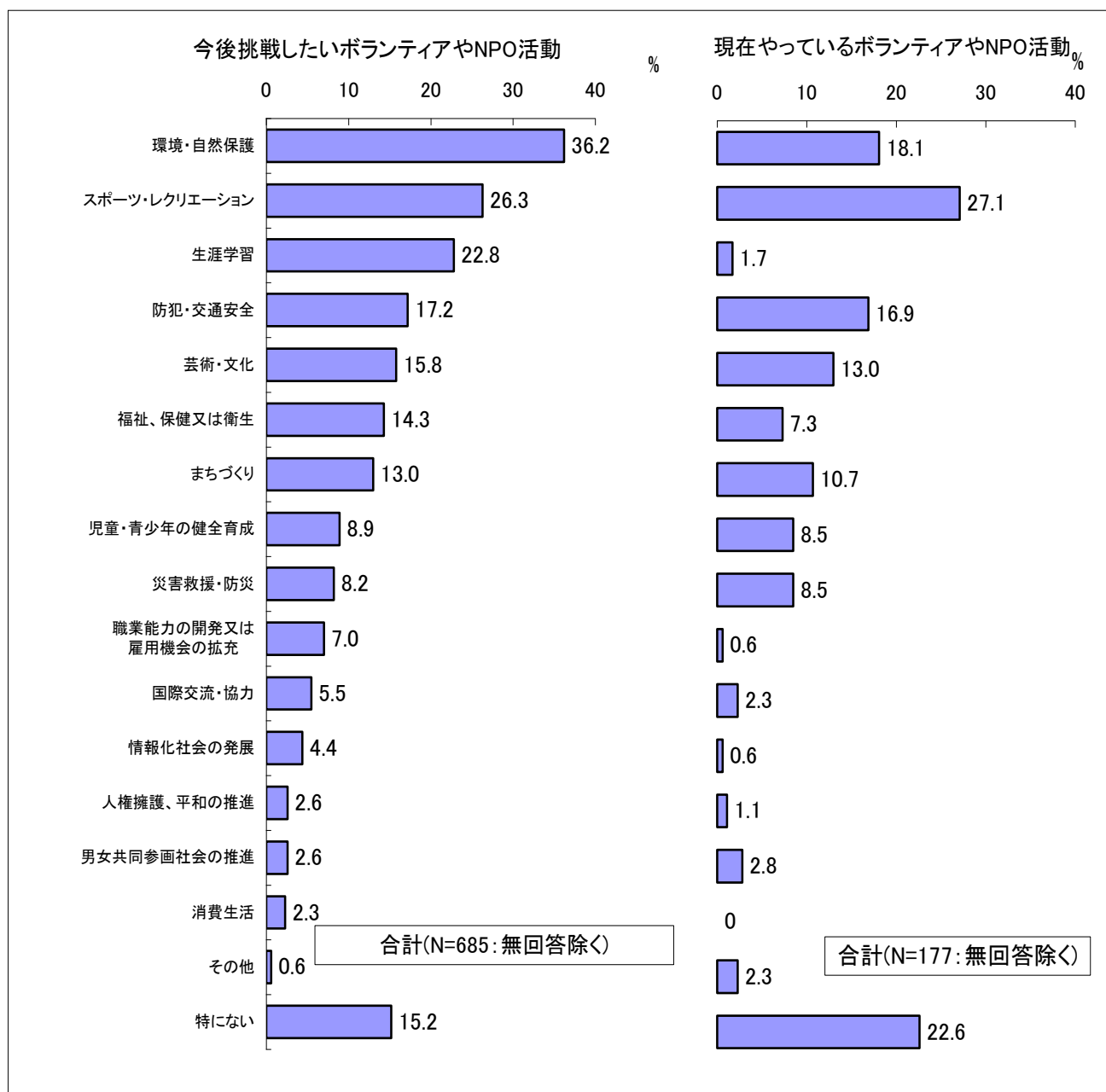


#### 4. 挑戦してみたい「ボランティアやNPO活動」

○挑戦してみたい「ボランティアやNPO活動」については、「環境・自然保護」が36.2%と最も多く、以下「スポーツ・レクリエーション」26.3%、「生涯学習」22.8%と続いており、環境・自然志向は今後も増えると予想される。

○現在やっている「ボランティアやNPO活動」は、「スポーツ・レクリエーション」が27.1%と最も多く、次いで「環境・自然保護」(18.1%)、「防犯・交通安全」(16.9%)が多い。

今後挑戦したい「ボランティアやNPO活動」と現在やっている活動（MA）

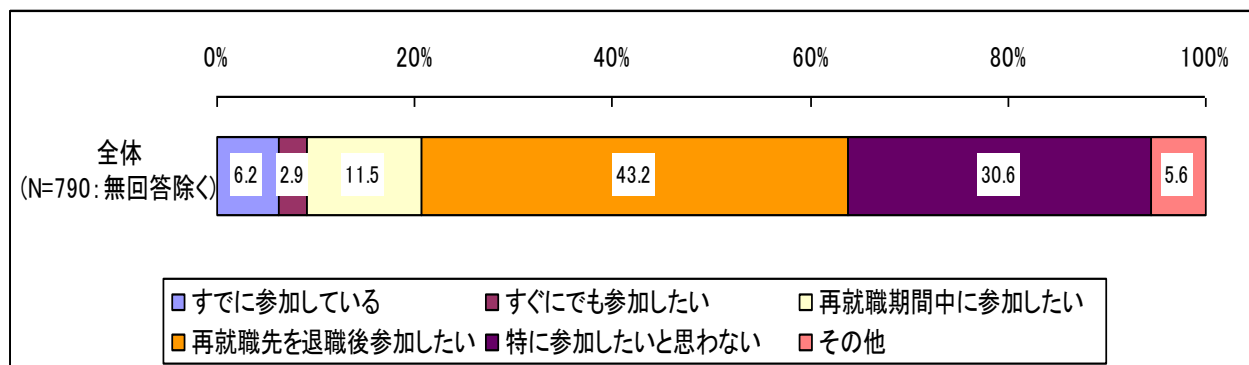




## 5. 「ボランティアやNPO活動」に参加する時期

○「ボランティアやNPO活動」に参加する時期については、「再就職先を退職後参加したい」が43.2%と最も多く、反対に、「再就職期間中に参加したい」は11.5%、「すぐにも参加したい」は2.9%と少ないことから、団塊世代の本格的な参加にはもう少し時間がかかると思われる。

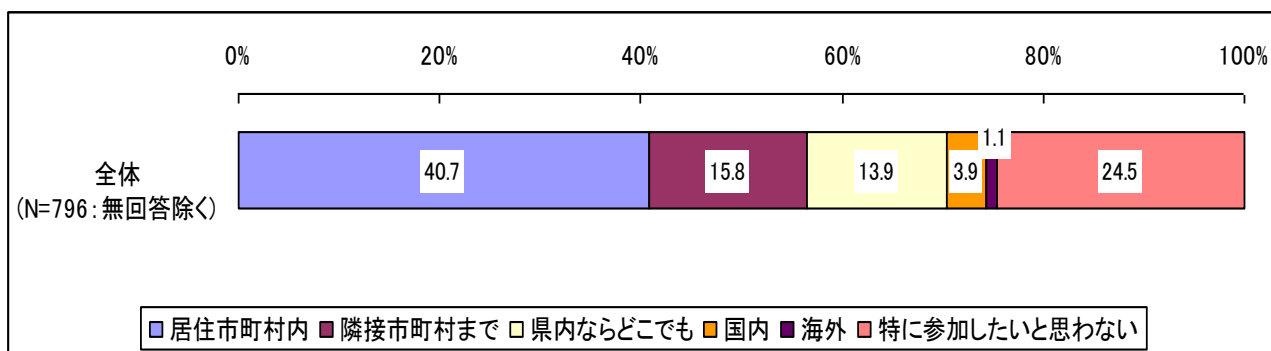
「ボランティアやNPO活動」に参加する時期(全体) (SA)



## 6. 「ボランティアやNPO活動」に参加する地域

○「ボランティアやNPO活動」に参加する地域については、「居住市町村内」が40.7%と最も多く、「隣接市町村まで」が15.8%、「県内ならどこでも」が13.9%となっており、やはり地元志向が強いといえる。

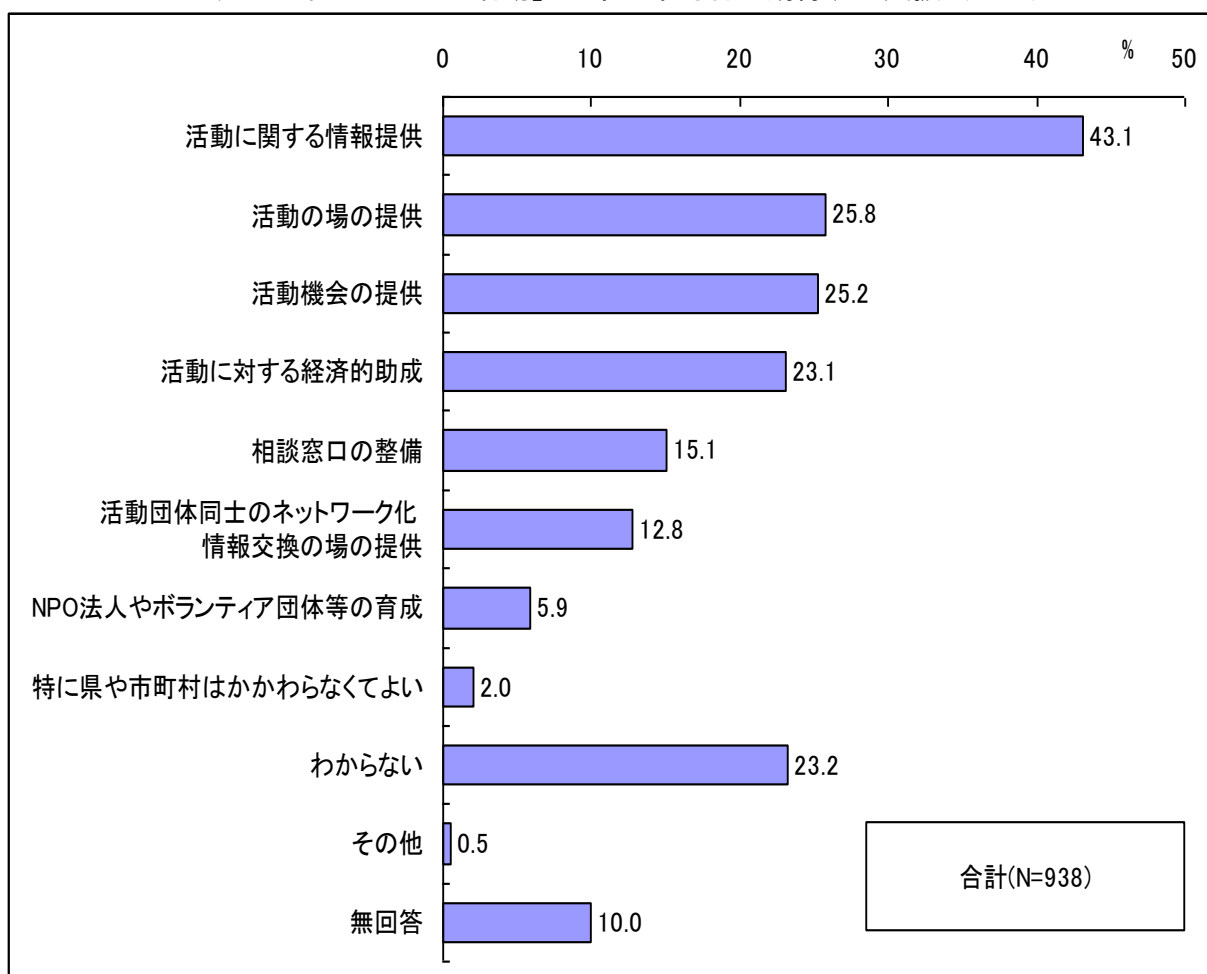
「ボランティアやNPO活動」に参加する地域(全体) (SA)



## 7. 「ボランティアやNPO活動」で県や市町村に期待する支援

- 「ボランティアやNPO活動」で県や市町村に期待する支援としては、「活動に関する情報提供」が43.1%と飛び抜けて多く、日常生活の中でボランティア情報を見る機会がまだまだ少ない表れといえる。
- その他「活動の場の提供」(25.8%)、「活動機会の提供」(25.2%)、「活動に対する経済的助成」(23.1%)を求める人が多い。

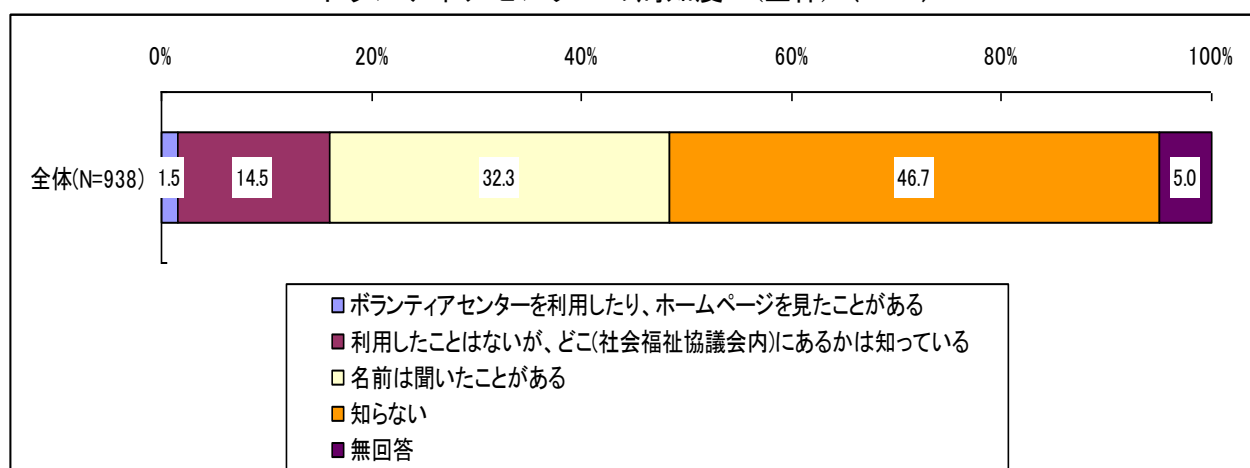
「ボランティアやNPO活動」で県や市町村に期待する支援 (MA)



## 8. ボランティアセンターの周知度

○ボランティアセンターについて尋ねたところ、実際に利用したことのある人がわずか1.5%に対して、知らない人は46.7%となっており、今後、センター自体の広報・啓発が求められる。

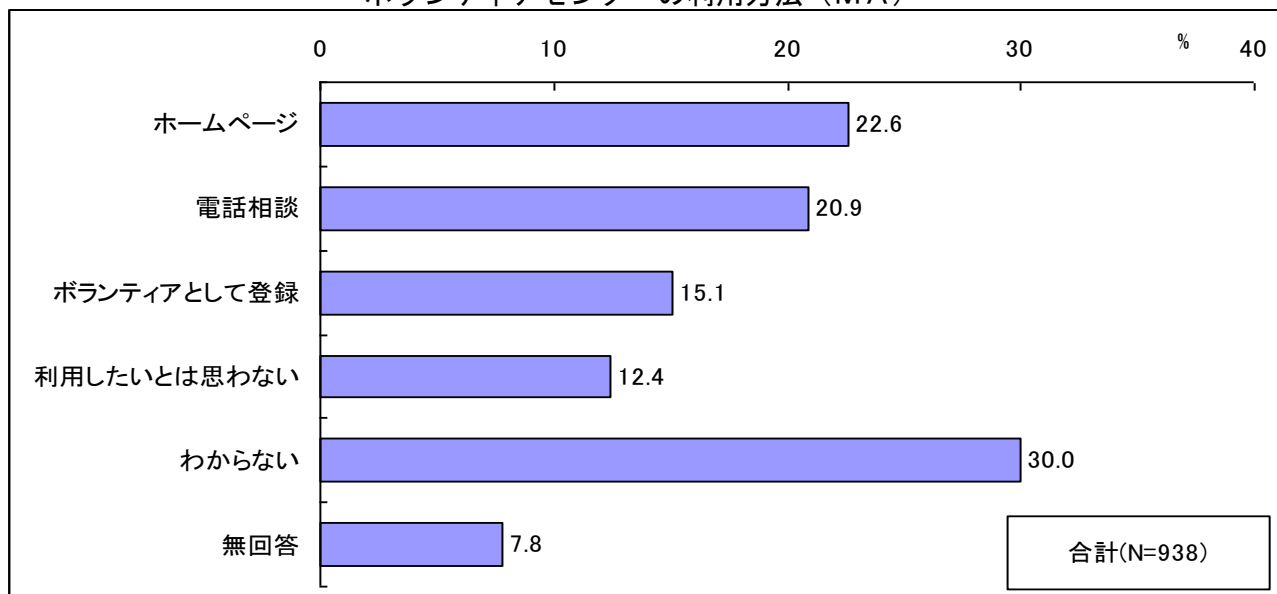
ボランティアセンターの周知度（全体）（SA）



## 9. ボランティアセンターの利用方法

○ボランティアセンターの利用方法としては、「ホームページ」や「電話相談」という人がそれぞれ20%強、「ボランティアとして登録」したいという人は15.1%となっており、今後、情報化への対応が求められている。

ボランティアセンターの利用方法（MA）



## IV. 調査結果

### 1. 退職まであと何年か

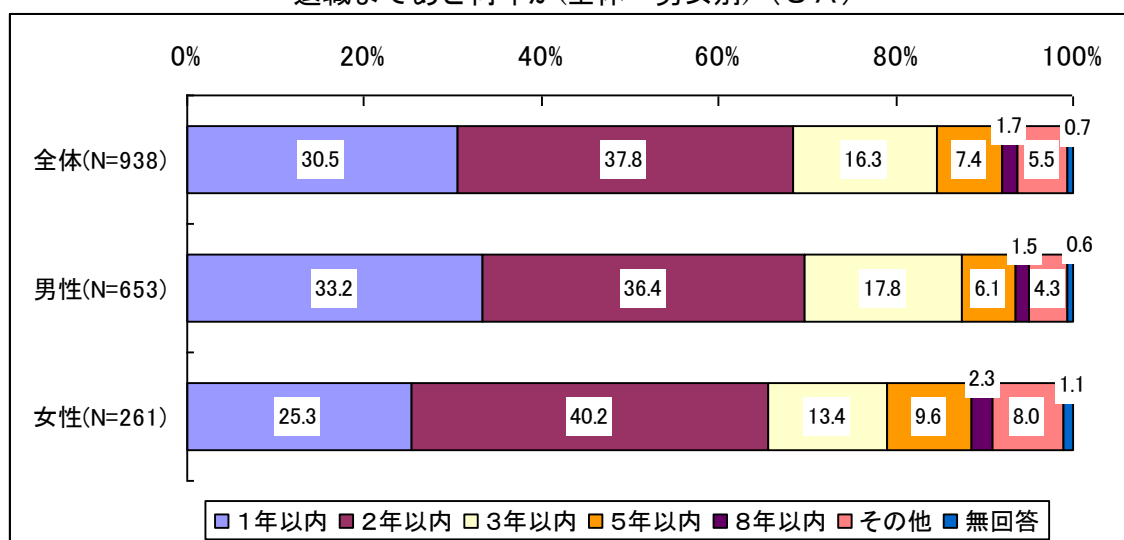
問 1

あなたは、退職予定まで、あと何年でしょうか。次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

○今後3年間で退職を迎える人が約85%。

退職までの年数は、「1年以内」が30.5%、「2年以内」が37.8%、「3年以内」が16.3%と、今後3年間で退職を迎える人が約85%となっている。男女別にみると、今後3年間で退職を迎える人は、男性が87.4%、女性が78.9%と男性がやや多くなっている。

退職まであと何年か(全体・男女別) (SA)



業種別では、製造業、運輸業、官公庁で今後3年間で退職を迎える人が90%を超えている。

退職まであと何年か(業種別) (SA) 単位：%

	1年以内 (1)	2年以内 (2)	3年以内 (3)	(1)+(2)+ (3)	5年以内	8年以内	その他	無回答
合計	30.5	37.8	16.3	84.6	7.4	1.7	5.5	0.7
土木・建設業(N=8)	-	-	12.5	12.5	37.5	50.0	-	-
製造業(N=441)	33.1	42.9	15.9	91.9	3.4	0.5	3.6	0.7
電気・ガス(N=13)	30.8	38.5	15.4	84.7	15.4	-	-	-
情報通信業(N=25)	20.0	32.0	36.0	88.0	-	-	12.0	-
卸売・小売業(N=28)	21.4	50.0	10.7	82.1	14.3	3.6	-	-
運輸業(N=39)	48.7	41.0	5.1	94.8	2.6	2.6	-	-
金融・保険業(N=149)	26.8	37.6	18.1	82.5	6.7	0.7	8.7	1.3
不動産業(N=1)	100	-	-	100	-	-	-	-
サービス業(N=66)	22.7	27.3	15.2	65.2	24.2	3.0	7.6	-
官公庁(N=92)	37.0	39.1	17.4	93.5	6.5	-	-	-
その他(N=44)	20.5	13.6	15.9	50.0	20.5	4.5	22.7	2.3

## 2. 再就職(継続雇用)の確率、再就職の期間

問2

あなたは、ご自分の再就職(継続雇用)の確率は何%と思われますか。左欄の中から最も近い確率を1つだけ選んで番号に○をつけてください。また再就職の期間は何年ほどを想定していますか。右欄の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

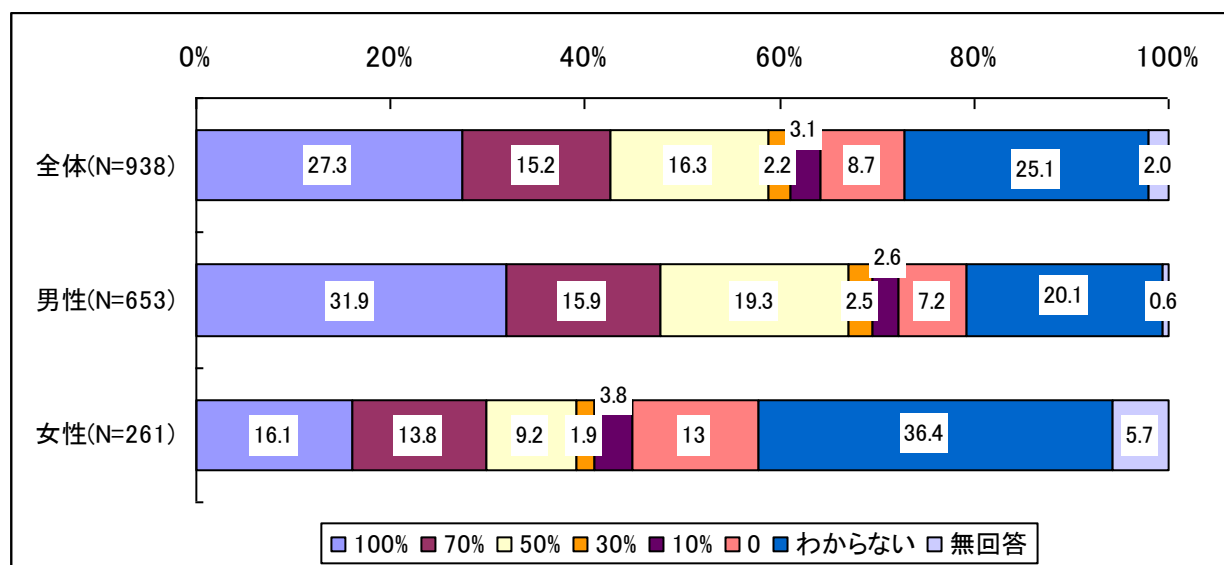
### (1) 再就職(継続雇用)の確率

○再就職(継続雇用)の確率を50%以上と考える人が58.8%をしめる。

再就職(継続雇用)の確率は、「100%」が27.3%、「70%」が15.2%、「50%」が16.3%と、50%以上が58.8%をしめる。

男女別にみると、男性は50%以上が67.1%と女性の39.1%を28ポイント上回っている。女性は「わからない」が36.4%と多くなっている。

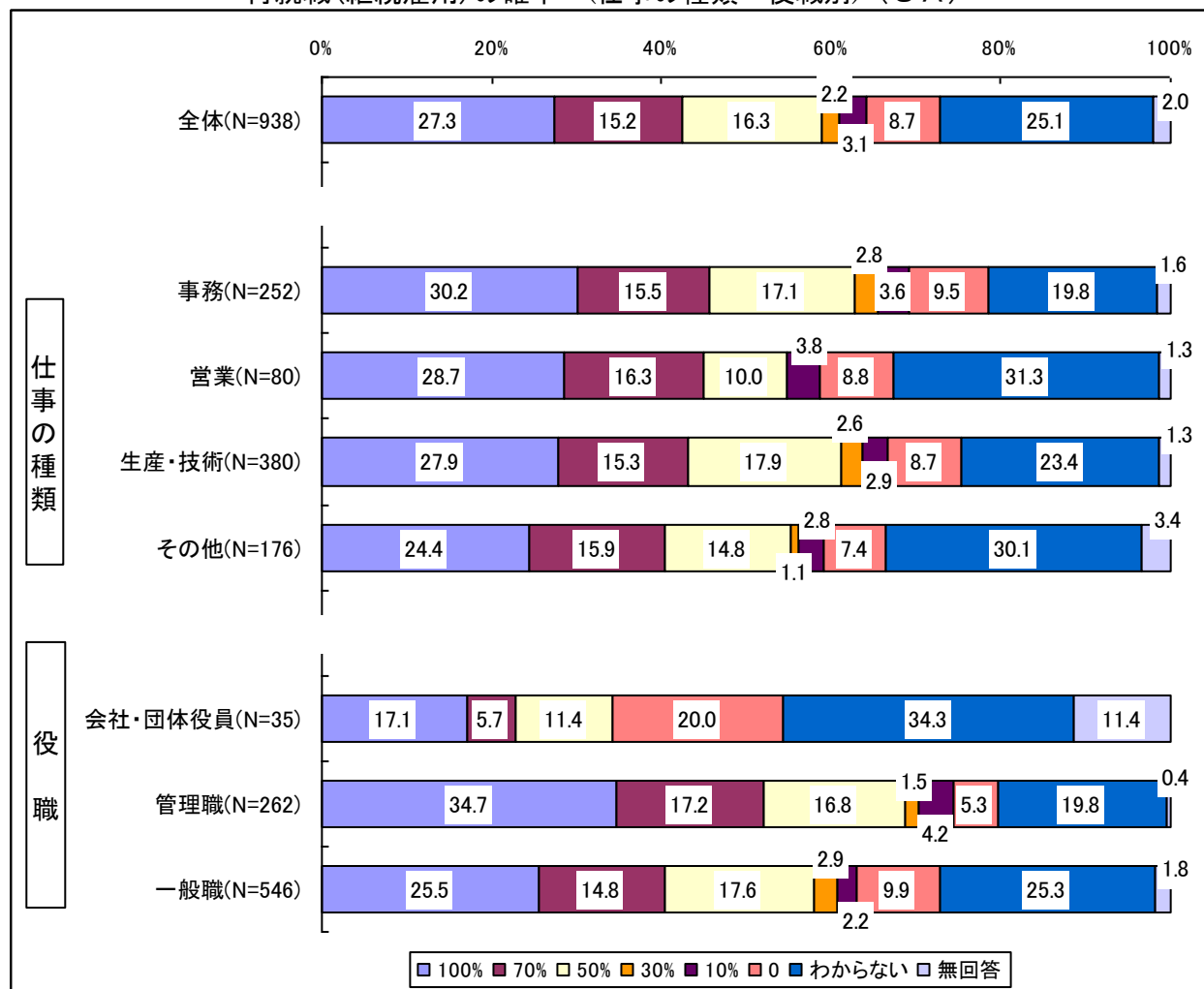
再就職(継続雇用)の確率 (全体・男女別) (SA)



仕事の種類別にみると、再就職(継続雇用)の確率50%以上は、「事務」が62.8%、「営業」が55.0%、「生産・技術」が61.1%、「その他」が55.1%と、「事務」「生産・技術」がやや多くなっている。

役職別にみると、再就職(継続雇用)の確率50%以上は、「会社・団体役員」34.2%、「管理職」68.7%、「一般職」57.9%と、「管理職」が多く、「会社・団体役員」が少なくなっている。

再就職(継続雇用)の確率 (仕事の種類・役職別) (SA)



業種別にみると、「製造業」「電気・ガス」「卸売・小売業」「運輸業」「金融・保険業」「官公庁」で、再就職(継続雇用)の確率 50%以上が 60%を超えている。

再就職(継続雇用)の確率 (業種別) (SA) 単位: %

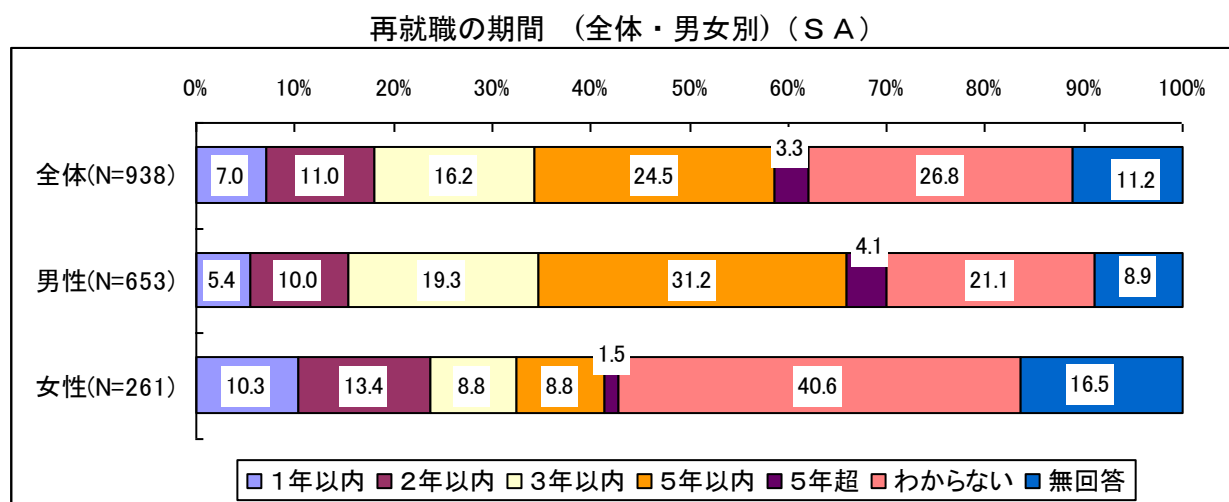
	100%(1)	70%(2)	50%(3)	(1)+(2)+(3)	30%	10%	0	わからない	無回答
全体(N=938)	27.3	15.2	16.3	58.8	2.2	3.1	8.7	25.1	2.0
土木・建設業(N=8)	-	25.0	12.5	37.5	-	-	25.0	37.5	-
製造業(N=441)	27	15.6	17.9	60.5	2.3	3.2	8.8	23.4	1.8
電気・ガス(N=13)	61.5	-	-	61.5	-	-	15.4	23.1	-
情報通信業(N=25)	12.0	12.0	20.0	44.0	4.0	4.0	8.0	36.0	4.0
卸売・小売業(N=28)	17.9	32.1	10.7	60.7	-	10.7	10.7	17.9	-
運輸業(N=39)	41.0	5.1	28.2	74.3	-	2.6	10.3	12.8	-
金融・保険業(N=149)	30.2	15.4	16.1	61.7	3.4	2.0	7.4	22.8	2.7
不動産業(N=1)	100	-	-	100	-	-	-	-	-
サービス業(N=66)	27.3	16.7	7.6	51.6	-	4.5	6.1	36.4	1.5
官公庁(N=92)	30.4	15.2	19.6	65.2	3.3	1.1	13.0	16.3	1.1
その他(N=44)	20.5	15.9	11.4	47.8	2.3	4.5	2.3	38.6	4.5

## (2) 再就職の期間

○再就職の期間は、「5年以内」が24.5%と最も多い。

再就職の期間は、「1年以内」が7.0%、「2年以内」が11.0%、「3年以内」が16.2%、「5年以内」が24.5%、「5年超」が3.3%、「わからない」と回答した人が26.8%となっている。

男女別にみると、女性は「1年以内」、「2年以内」が多く、男性は「3年以内」、「5年以内」が多くなっている。また、女性は「わからない」が40.6%と男性に比べ多くなっている。



業種別にみると、ほとんどの業種で、「5年以内」が最も多いが、卸売・小売業は「2年以内」、運輸業、官公庁は「3年以内」が最も多くなっている。

**再就職の期間（業種別）（S A） 単位：%**

	1年以内	2年以内	3年以内	5年以内	5年超	わからない	無回答
全体(N=938)	7.0	11.0	16.2	24.5	3.3	26.8	11.2
土木・建設業(N=8)	-	12.5	-	12.5	12.5	37.5	25.0
製造業(N=441)	8.6	15.2	17.7	19.3	2.3	26.3	10.7
電気・ガス(N=13)	-	15.4	7.7	38.5	15.4	7.7	15.4
情報通信業(N=25)	4.0	-	20.0	28.0	12.0	32.0	4.0
卸売・小売業(N=28)	14.3	21.4	7.1	21.4	10.7	14.3	10.7
運輸業(N=39)	10.3	10.3	25.6	12.8	-	30.8	10.3
金融・保険業(N=149)	4.0	6.0	12.8	39.6	4.0	23.5	10.1
不動産業(N=1)	-	-	-	100	-	-	-
サービス業(N=66)	7.6	7.6	7.6	30.3	3.0	30.3	13.6
官公庁(N=92)	1.1	6.5	29.3	28.3	3.3	17.4	14.1
その他(N=44)	6.8	4.5	6.8	22.7	2.3	43.2	13.6

仕事の種類別にみると、いずれも「5年以内」が最も多くなっている。

役職別にみると、会社・団体役員は「2年以内」が最も多く、管理職は「3年以内」が会社・団体役員、一般職に比べやや多くなっている。

再就職の期間（仕事の種類・役職別）（S A）

	1年以内	2年以内	3年以内	5年以内	5年超	わからない	無回答
全体(N=938)	7.0	11.0	16.2	24.5	3.3	26.8	11.2
<仕事の種類>							
事務(N=252)	6.0	11.1	18.3	30.2	2.4	19.8	12.3
営業(N=80)	10.0	6.3	10.0	28.7	5.0	22.5	17.5
生産・技術(N=380)	6.3	13.2	18.9	20.5	3.7	27.1	10.3
その他(N=176)	8.5	7.4	12.5	27.3	3.4	31.8	9.1
<役職>							
会社・団体役員(N=35)	5.7	17.1	14.3	8.6	2.9	31.4	20.0
管理職(N=262)	5.0	7.3	21.8	35.9	3.1	19.1	8.0
一般職(N=546)	7.5	13.0	14.5	20.9	3.7	28.2	12.3



### 3. 退職後の準備

問3

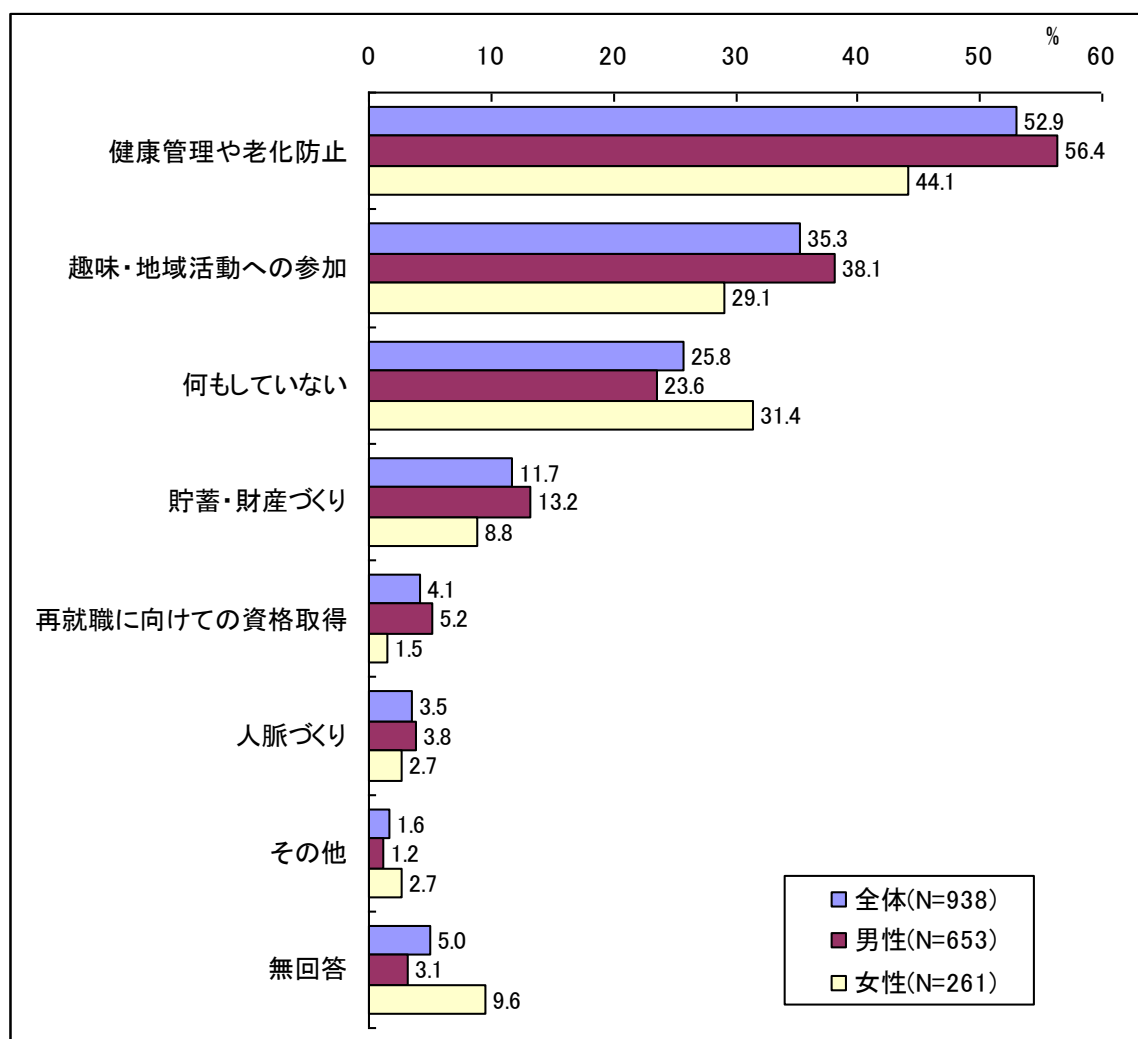
あなたは、退職後に向けて、何か準備されていますか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。

○退職後に向けての準備は、「健康管理や老化防止」が52.9%と最も多く、次いで「趣味・地域活動への参加」が35.3%と多い。

退職後に向けての準備をみると、「健康管理や老化防止」が52.9%と最も多く、次いで「趣味・地域活動への参加」が35.3%、「何もしていない」人は25.8%となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べ、「健康管理や老化防止」、「趣味・地域活動への参加」が約10ポイント多く、女性は男性に比べ「何もしていない」人が多くなっている。

退職後の準備 (MA)



#### 4. 仕事以外の活動への意識

問 4

仕事以外の活動についておたずねします。あなたは、これから、次のような活動をやってみたいとお考えですか。それぞれの選択肢で該当するところに1つだけ○をつけてください。  
(○は各選択肢ごとに1つだけ)

○仕事以外の活動について尋ねたところ、『ボランティア・NPO活動』を「現在すでにやっている」人が5.3%と極めて少ないのに対し、今後「やってみたい」「機会があればやってみたい」を合わせて52.1%の人が興味を示しており、『ボランティア・NPO活動』への関心は高いといえる。

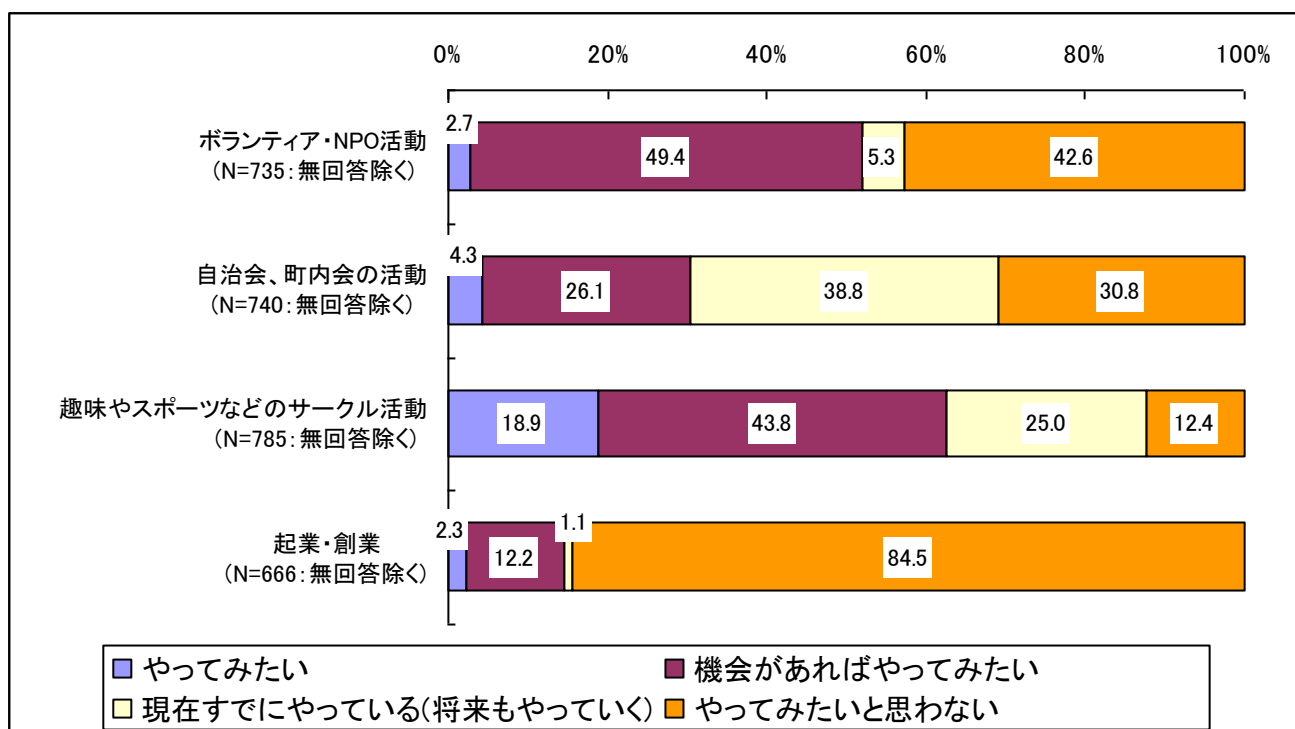
『ボランティア・NPO活動』は、「やってみたい」(2.7%)「機会があればやってみたい」(49.4%)を合わせて52.1%の人が興味を示している。「やってみたいと思わない」は42.6%となっている。

『自治会、町内会の活動』は「現在すでにやっている(将来もやっていく)」が38.8%と多く、「やってみたい」(4.3%)「機会があればやってみたい」(26.1%)計が30.4%、「やってみたいと思わない」が30.8%となっている。

『趣味やスポーツなどのサークル活動』は25.0%の人が「現在すでにやっている(将来もやっていく)」と回答。さらに、「やってみたい」(18.9%)「機会があればやってみたい」(43.8%)を合わせて62.7%の人が興味をしめしている。

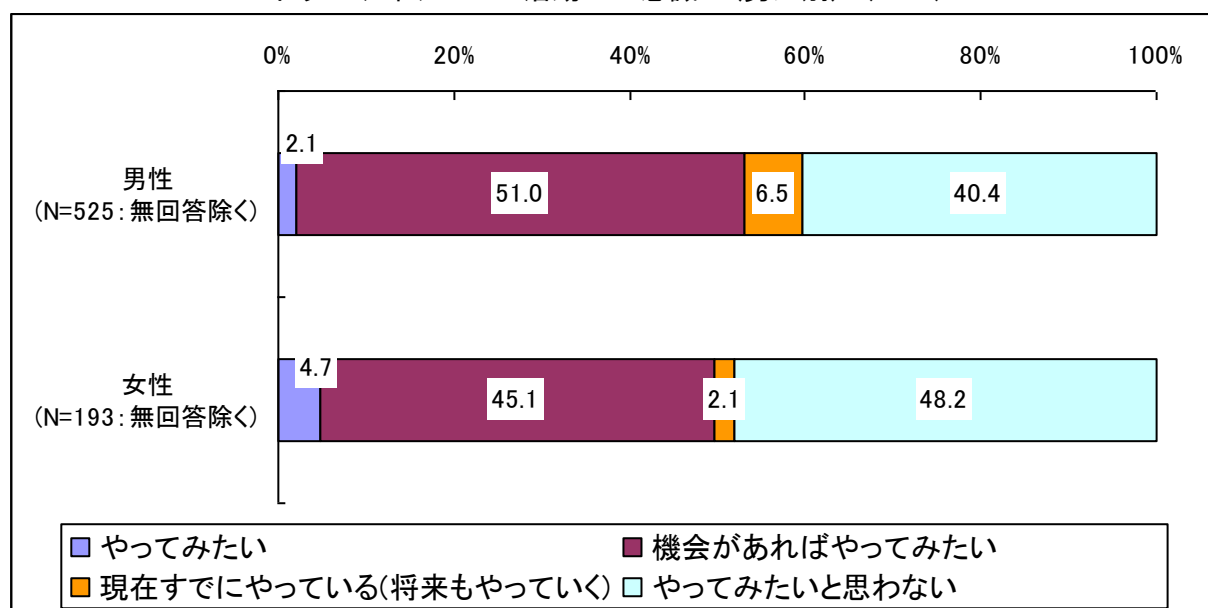
『起業・創業』は、「やってみたいと思わない」が84.5%と多く、興味を持っている人は14.5%と少なくなっている。

仕事以外の活動への意識 (SA)



『ボランティア・NPO 活動』への参加の意識を男女別にみると、男性は女性に比べ、「機会があればやってみたい」とする人の割合がやや多くなっている。

ボランティア・NPO 活動への意識 (男女別) (S A)



『ボランティア・NPO 活動』を「機会があればやってみたい」という人は、仕事の種類別では、事務、営業の人が多く、役職別では管理職が多く、それぞれ 60%を超えている。

ボランティア・NPO 活動への意識 (仕事の種類・役職別) (S A)

	やってみたい	機会があれば やってみたい	現在すでにや っている(将来 もやっていく)	やってみたい と思わない
N: 無回答除く				
全体 (N=735)	2.7	49.4	5.3	42.6
<仕事の種類>				
事務 (N=219)	3.2	61.6	5.5	29.7
営業 (N=65)	3.1	63.1	4.6	29.2
生産・技術 (N=279)	1.8	40.9	5.0	52.3
その他 (N=133)	3.0	43.6	6.8	46.6
<役職>				
会社・団体役員 (N=24)	4.2	54.2	16.7	25.0
管理職 (N=233)	1.7	62.2	5.2	30.9
一般職 (N=413)	3.4	43.3	5.6	47.7

## 5. 「ボランティアやNPO活動」の機会(きっかけ)

問5

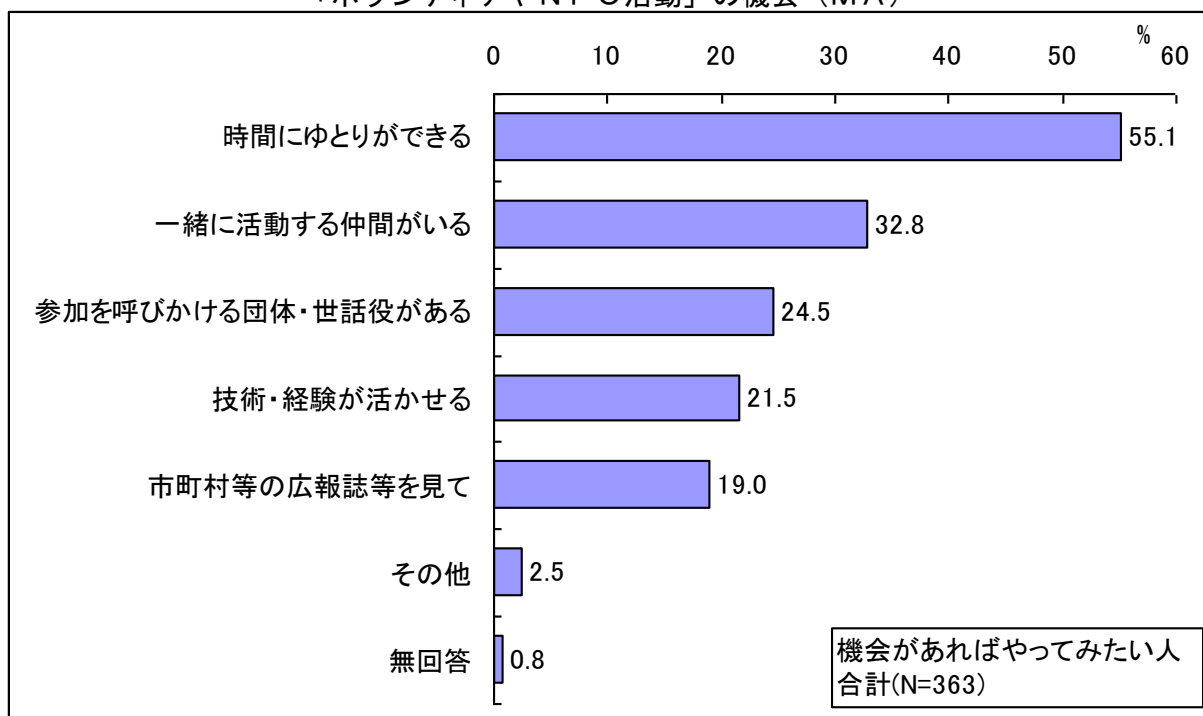
問4で『1ボランティア・NPO活動』について「機会があればやってみたい」に○をつけた方におたずねします。あなたにとって「機会」とは何ですか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。

○「機会があればやってみたい」という人にその機会について尋ねたところ、「ボランティアやNPO活動」を始める機会は、「時間にゆとりができる」が55.1%と最も多いが、それ以外でも「一緒に活動する仲間がいる」が32.8%、「参加を呼びかける団体・世話役がある」が24.5%、「技術・経験が活かせる」が21.5%となっており、何らかのきっかけを求める人は多い。

「ボランティアやNPO活動」を機会があればやってみたいと回答の人は、その機会として「時間にゆとりができる」が最も多く55.1%となっている。

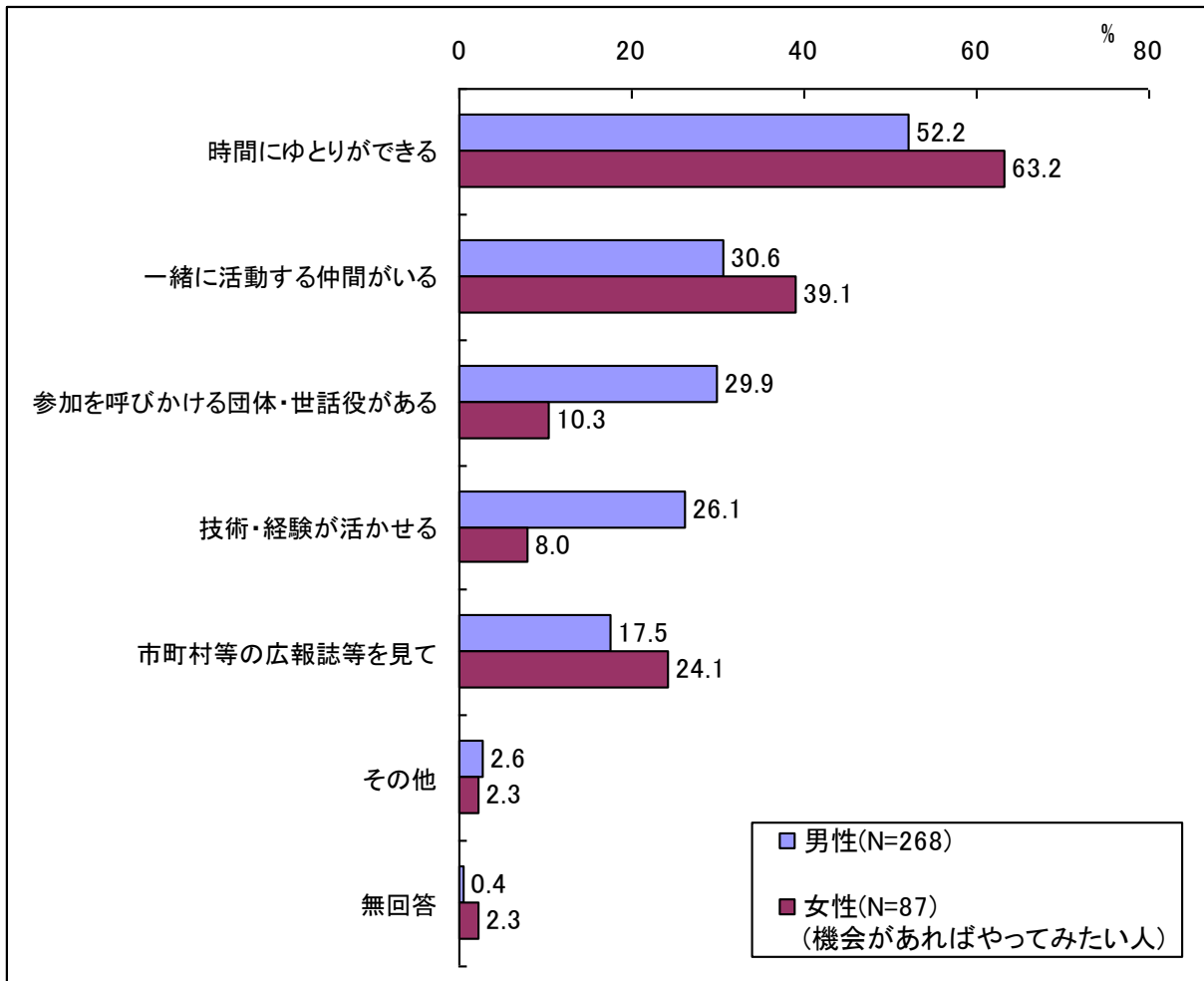
次いで「一緒に活動する仲間がいる」が32.8%と多く、「参加を呼びかける団体・世話役がある」「技術・経験が活かせる」が20%を超えている。

「ボランティアやNPO活動」の機会 (MA)



男女別にみると、男女共に「時間にゆとりができる」「一緒に活動する仲間がいる」が多いが、男性は「参加を呼びかける団体・世話役がある」「技術・経験が活かせる」も多くなっている。

「ボランティアやNPO活動」の機会(男女別)(MA)



## 6. 「ボランティアやNPO活動」に参加している（してみたい）理由

問6

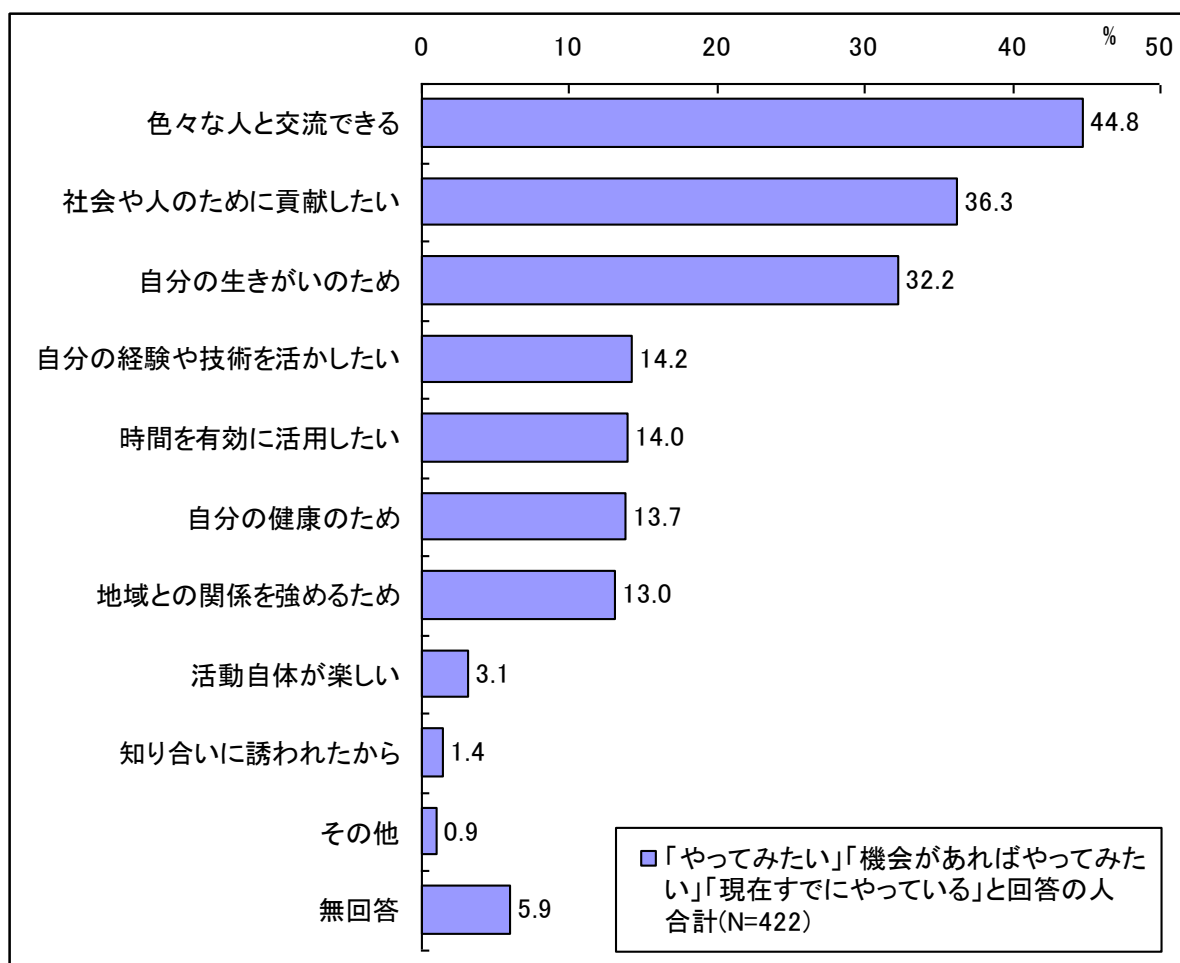
問4で『1 ボランティア・NPO活動』について「やってみたい」「機会があればやってみたい」「現在すでにやっている」に○をつけた方におたずねします。あなたが「ボランティアやNPO活動」に参加している（してみたい）理由は何でしょうか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。

○「ボランティアやNPO活動」に参加している（してみたい）理由は、「色々な人と交流できる」が44.8%と最も多く、「社会や人のために貢献したい」「自分の生きがいのため」が30%を超えており、第二の人生での交流、自己実現、生きがいを求める人が多い。

「ボランティアやNPO活動」に参加の理由は、「色々な人と交流できる」が44.8%と最も多く、「社会や人のために貢献したい」「自分の生きがいのため」が30%を超えている。

「自分の経験や技術を活かしたい」「時間を有効に活用したい」「自分の健康のため」「地域との関係を強めるため」が15%弱となっている。

「ボランティアやNPO活動」に参加している（してみたい）理由（MA）

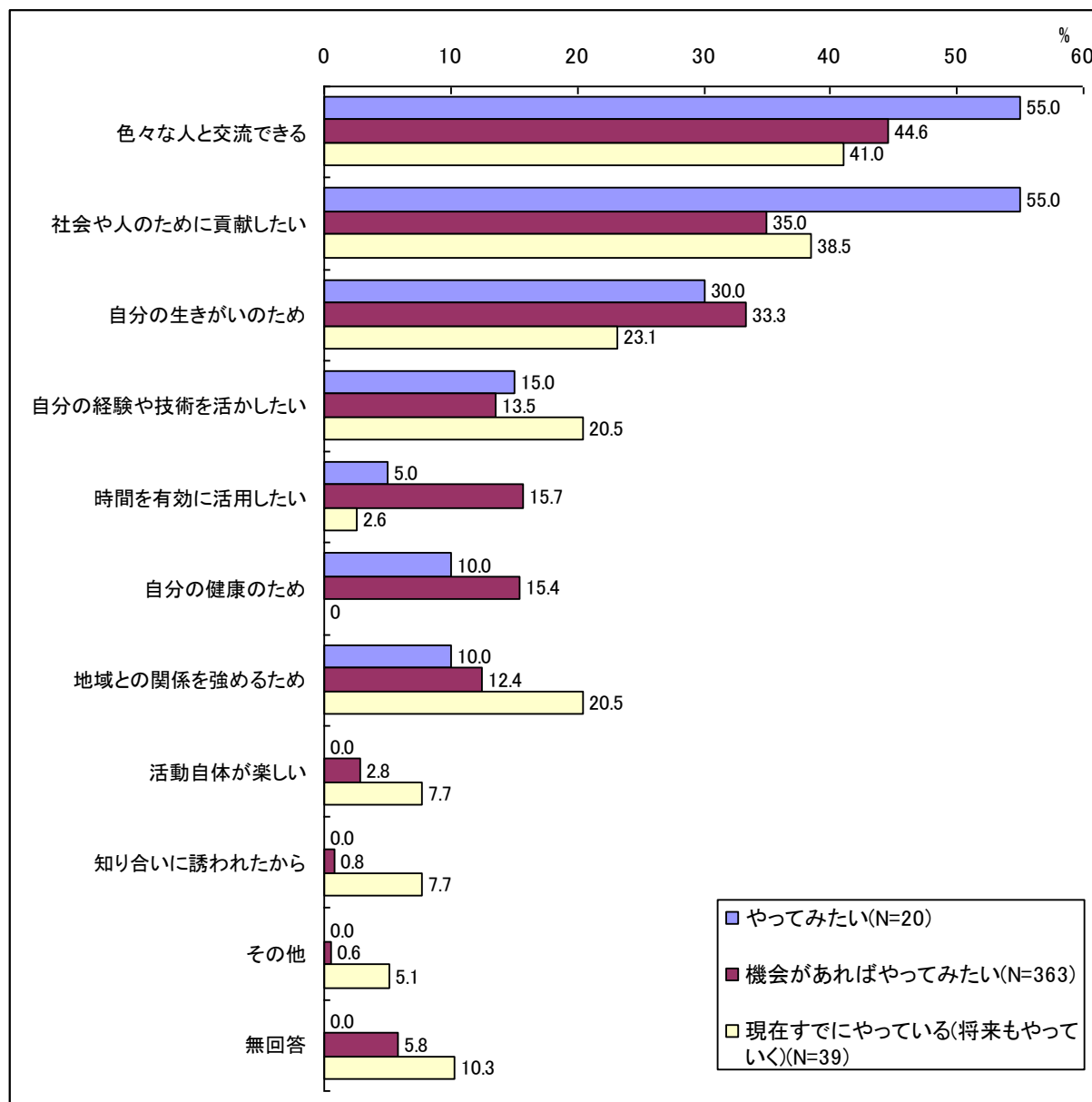


回答別にみると、『やってみたい』という人は、「色々な人と交流できる」「社会や人のために貢献したい」が他の回答と比べ多くなっている。

『機会があればやってみたい』という人は、「自分の生きがいのため」「時間を有効に活用したい」「自分の健康のため」が他の回答と比べ多くなっている。

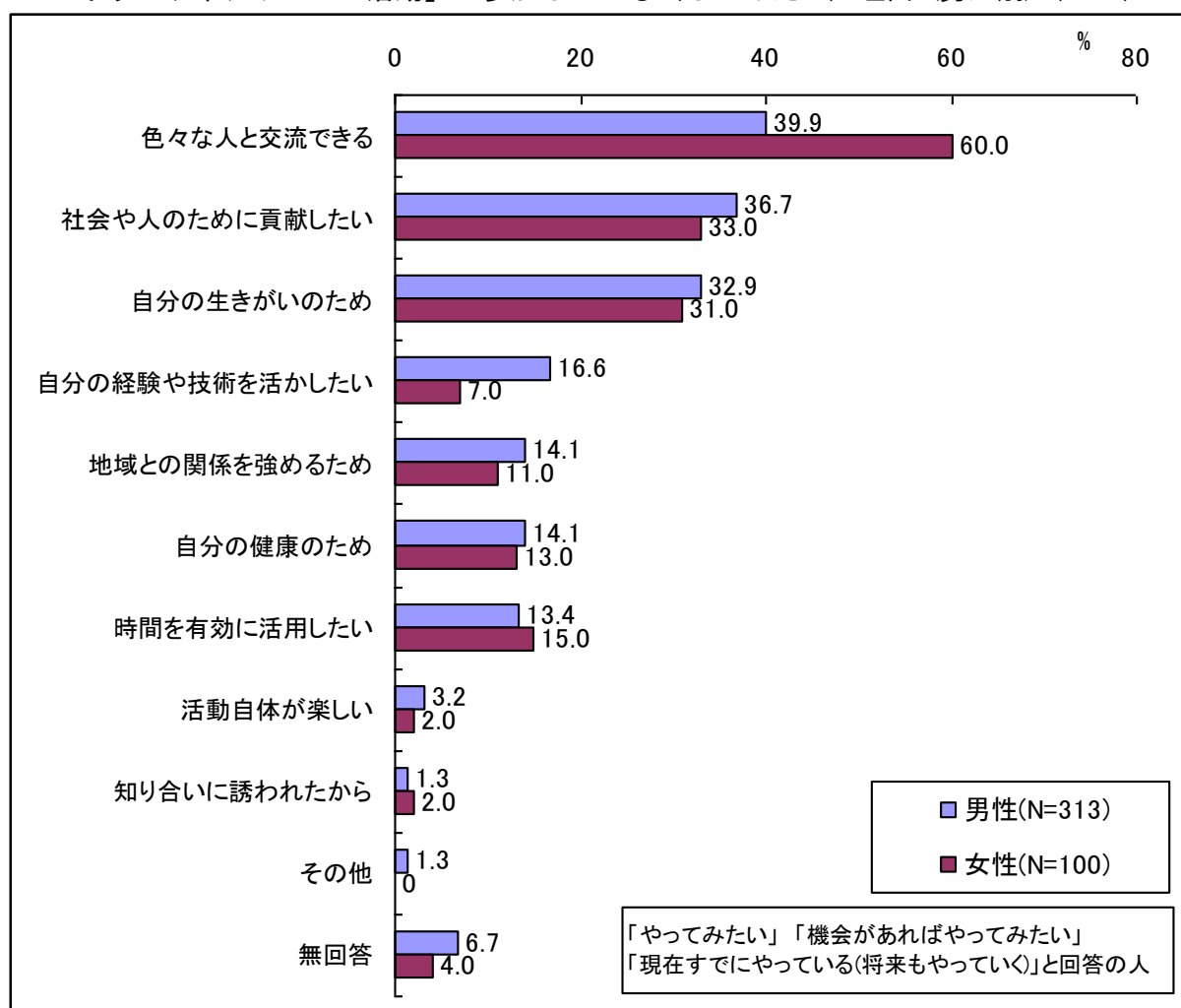
『現在すでにやっている』という人は、「自分の経験や技術を活かしたい」「地域との関係を強めるため」「活動自体が楽しい」「知り合いに誘われたから」が他の回答と比べ多くなっている。

「ボランティアやNPO活動」に参加している（してみたい）理由（回答別）（MA）



男女別にみると、女性は「色々な人と交流できる」が60.0%と男性に比べ約20ポイント多くなっている。男性は「自分の経験や技術を活かしたい」が女性に比べ多くなっている。

「ボランティアやNPO活動」に参加している（してみたい）理由（男女別）（MA）





## 7. 挑戦してみたい「ボランティアやNPO活動」

### 問7

あなたが「ボランティアやNPO活動」に参加するとしたら、どのような分野に挑戦してみたいと思いますか。 挑戦してみたいとお考えの分野の欄に○をつけてください。なお、現在すでにやっている活動は、該当する欄に○をつけてください。(○はいくつでも可)

○挑戦してみたい「ボランティアやNPO活動」については、「環境・自然保護」が36.2%と最も多く、以下「スポーツ・レクリエーション」26.3%、「生涯学習」22.8%と続いており、環境・自然志向は今後も増えると予想される。

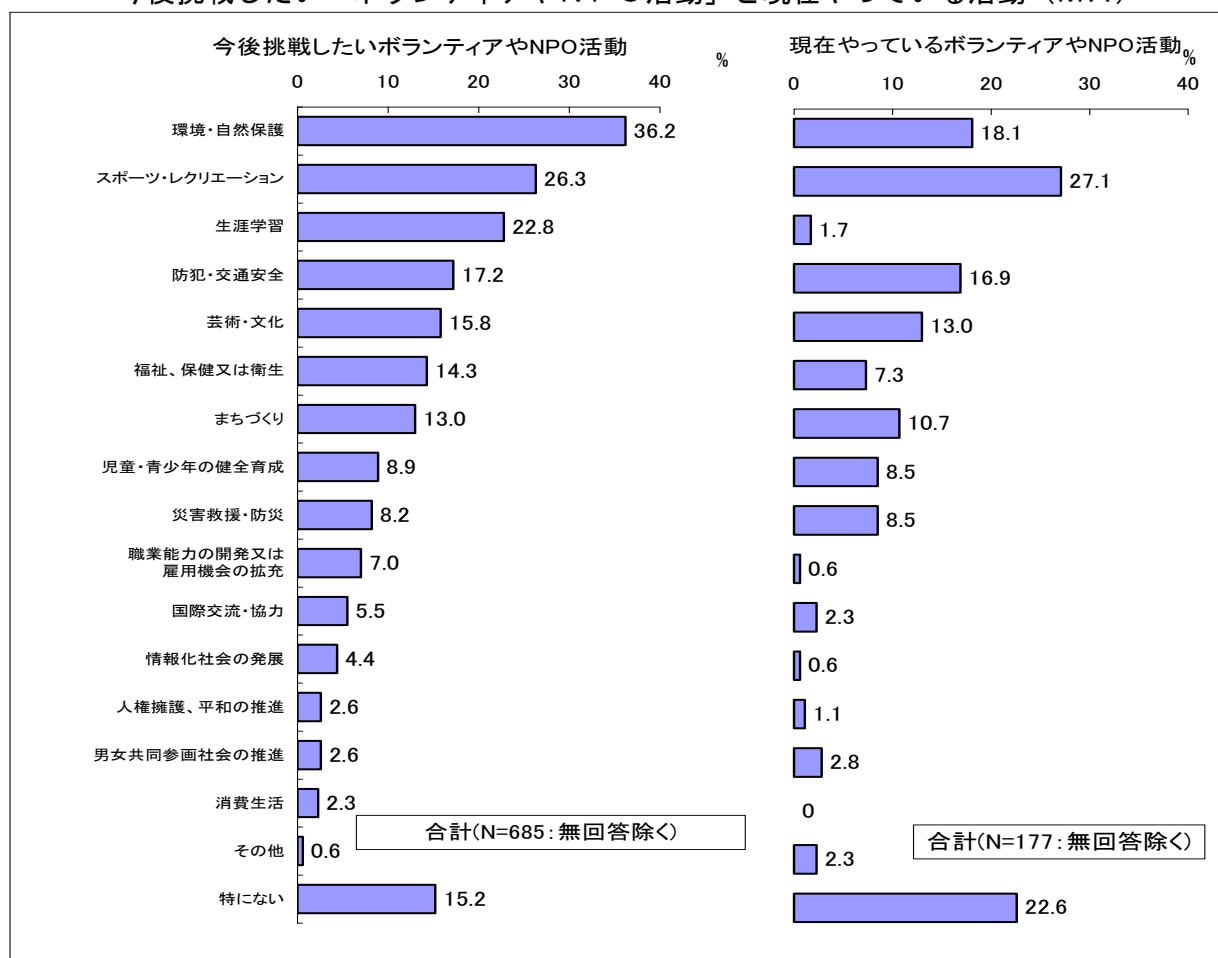
○現在やっている「ボランティアやNPO活動」は、「スポーツ・レクリエーション」が27.1%と最も多く、次いで「環境・自然保護」(18.1%)、「防犯・交通安全」(16.9%)が多い。

挑戦してみたい「ボランティアやNPO活動」は、「環境・自然保護」が36.2%と最も多く、次いで「スポーツ・レクリエーション」が26.3%、「生涯学習」が22.8%とそれに続いている。

「防犯・交通安全」「芸術・文化」「福祉、保健又は衛生」「まちづくり」をやってみたいという人が10%を超えている。

現在やっている「ボランティアやNPO活動」は、「スポーツ・レクリエーション」が27.1%と最も多く、以下「環境・自然保護」18.1%、「防犯・交通安全」16.9%、「芸術・文化」13.0%、「まちづくり」10.7%の順となっている。

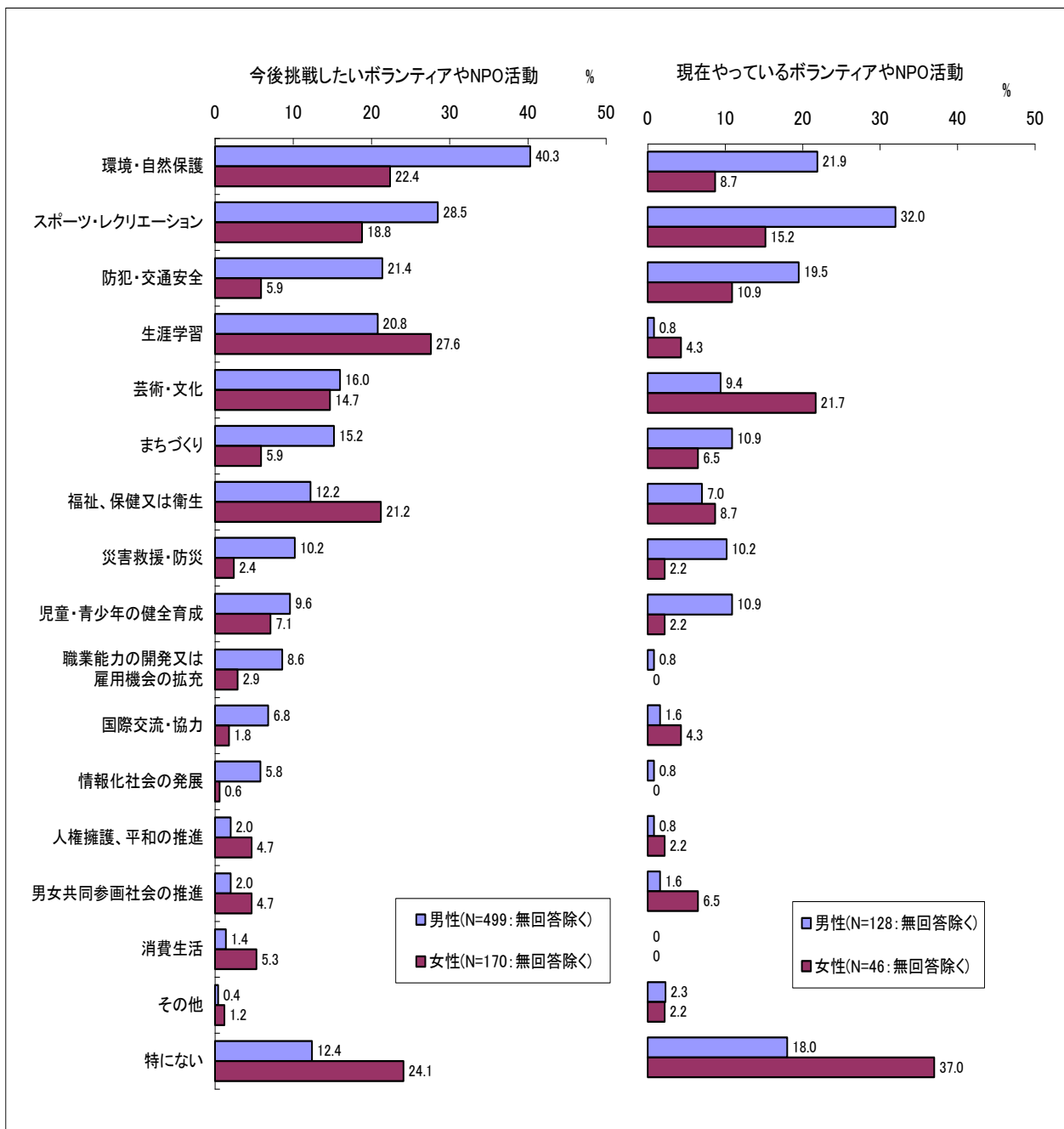
今後挑戦したい「ボランティアやNPO活動」と現在やっている活動 (MA)



これからやってみたい活動を男女別にみると、男性は女性に比べ、「環境・自然保護」「スポーツ・レクリエーション」「防犯・交通安全」「まちづくり」「災害救援・防災」が多く、女性は男性に比べ「生涯学習」「福祉、保健又は衛生」が多いのが特徴である。

現在やっている活動を男女別にみると、男性は女性に比べ、「スポーツ・レクリエーション」「環境・自然保護」「防犯・交通安全」「児童・青少年の健全育成」「まちづくり」「災害救援・防災」が多く、女性は男性に比べ、「芸術・文化」「福祉、保健又は衛生」「男女共同参画社会の推進」「生涯学習」「国際交流・協力」が多くなっている。

### 今後挑戦したい「ボランティアやNPO活動」と現在やっている活動(男女別) (MA)



## 8. 「ボランティアやNPO活動」に参加する時期

問 8

あなたが「ボランティアやNPO活動」に参加するとしたら、いつ頃から参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

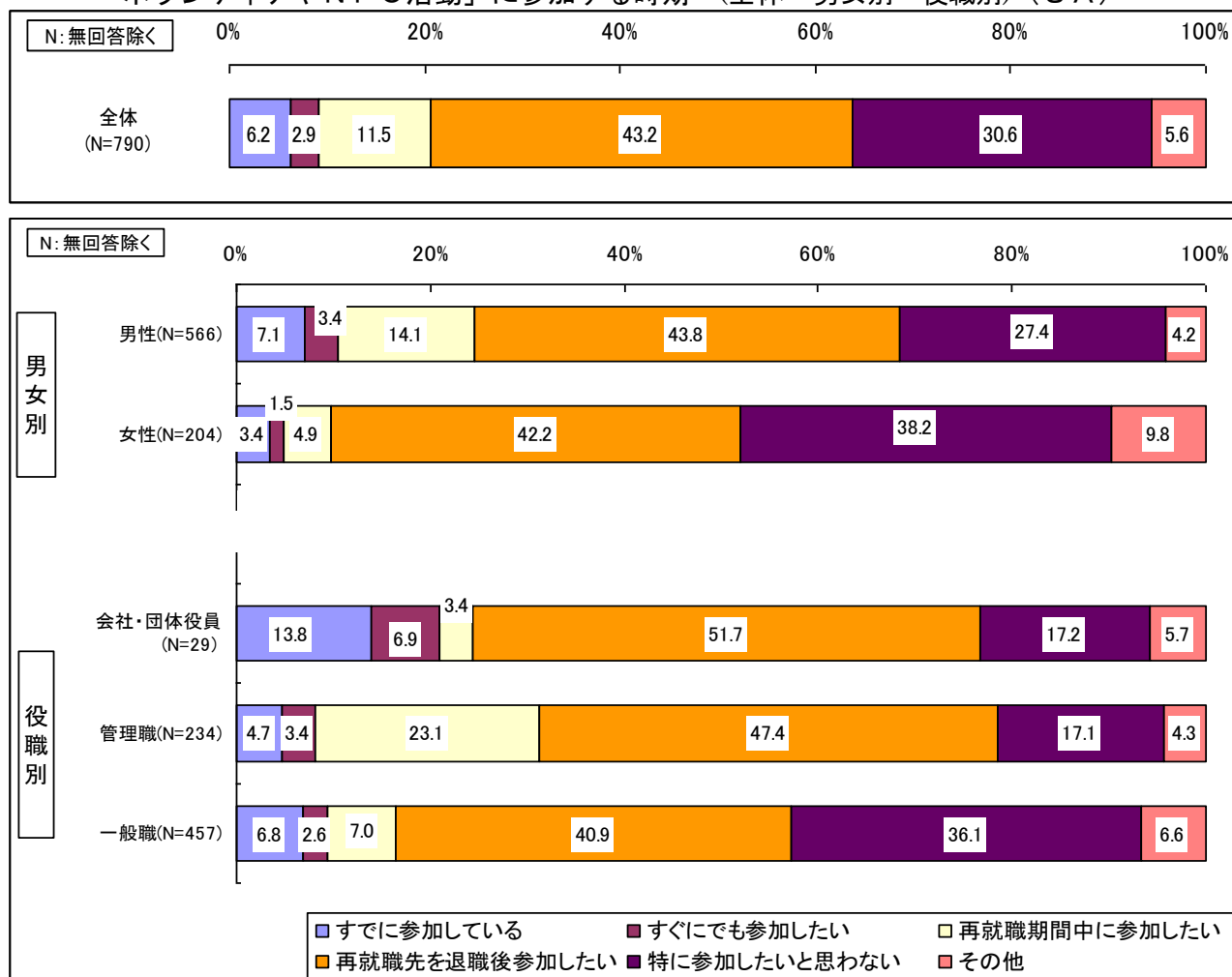
○「ボランティアやNPO活動」に参加する時期については、「再就職先を退職後参加したい」が43.2%と最も多く、反対に、「再就職期間中に参加したい」は11.5%、「すぐにでも参加したい」は2.9%と少ないことから、団塊世代の本格的な参加にはもう少し時間がかかると思われる。

「ボランティアやNPO活動」に参加する時期は、「再就職先を退職後参加したい」が43.2%と最も多く、「再就職期間中に参加したい」は11.5%、「すぐにでも参加したい」は2.9%となっている。「特に参加したいと思わない」は30.6%となっている。

男女別にみると、男性は「再就職期間中に参加したい」が14.1%と、女性に比べ約9ポイント多く、女性は男性に比べ、「特に参加したいと思わない」がやや多くなっている。

役職別にみると、管理職は「再就職期間中に参加したい」が23.1%と、会社・団体役員、一般職に比べ多く、一般職は「特に参加したいと思わない」が会社・団体役員、管理職に比べ多くなっている。

「ボランティアやNPO活動」に参加する時期（全体・男女別・役職別）（SA）



## 9. 「ボランティアやNPO活動」に参加する地域

問9

あなたが「ボランティアやNPO活動」に参加するとしたら、どこで参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

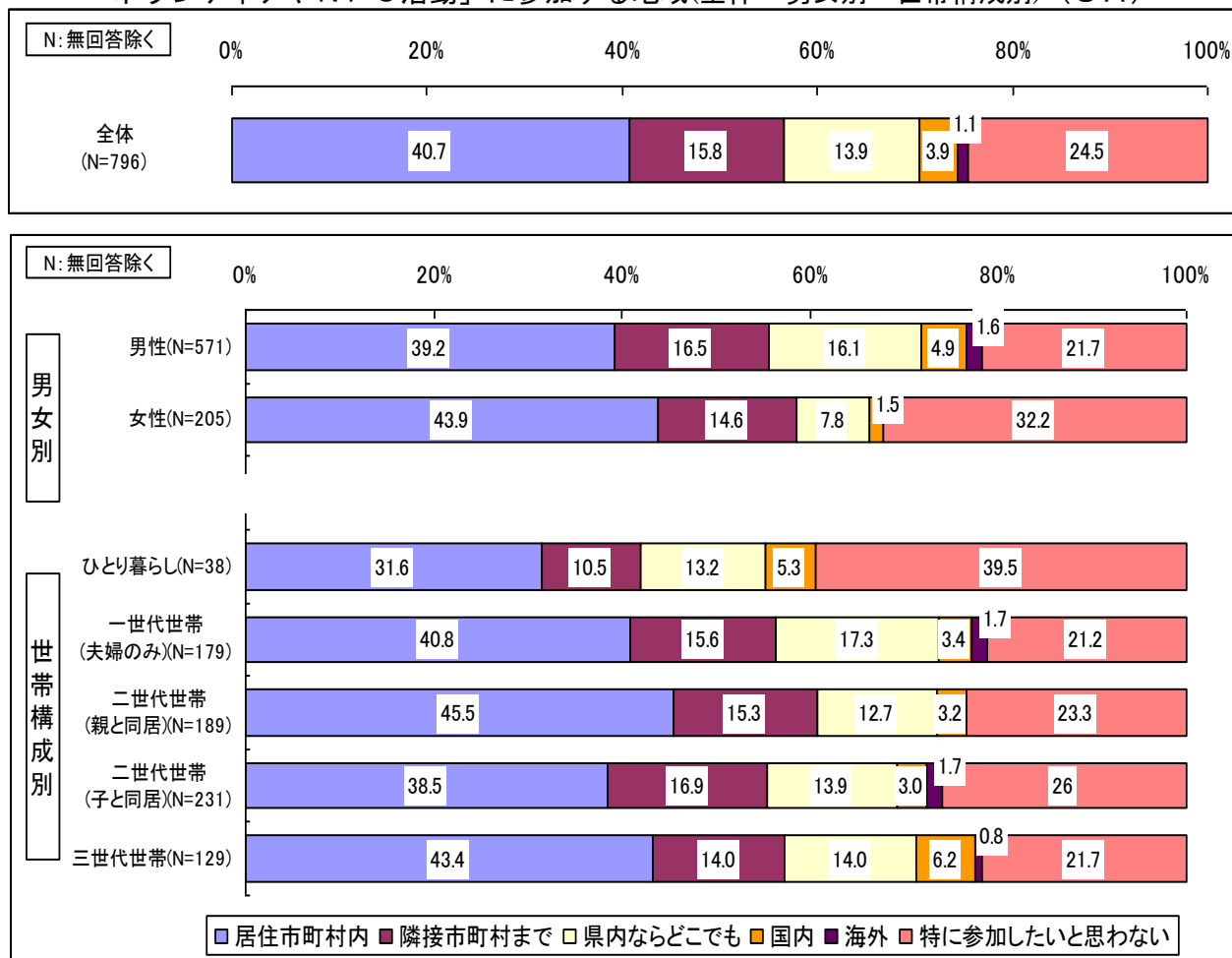
○「ボランティアやNPO活動」に参加する地域については、「居住市町村内」が40.7%と最も多く、「隣接市町村まで」が15.8%、「県内ならどこでも」が13.9%となっており、やはり地元志向が強いといえる。

「ボランティアやNPO活動」に参加する地域は、「居住市町村内」が40.7%と最も多く、「隣接市町村まで」が15.8%、「県内ならどこでも」が13.9%となっている。

男女別にみると、女性は男性に比べ「県内ならどこでも」が7.8%とやや少なく、「特に参加したいと思わない」が32.2%とやや多くなっている。

世帯構成別にみると、『ひとり暮らし』は「特に参加したいと思わない」が多く、『二世帯世帯(親と同居)』『三世帯世帯』は「居住市町村内」が他と比べやや多くなっている。『三世帯世帯』は「国内ならどこでも」が他と比べやや多くなっている。

「ボランティアやNPO活動」に参加する地域(全体・男女別・世帯構成別)(SA)



## 10. 持っている知識や技術

### 問 10

あなたは、いままでの経験などから、どのような知識や技術を持っていますか。(人に作品や演技などを見せたり、初めての人に教えることができる程度のレベルで、資格や段位がなくても結構です。)次の中から選んで番号に○をつけてください。(○はいくつでも可)

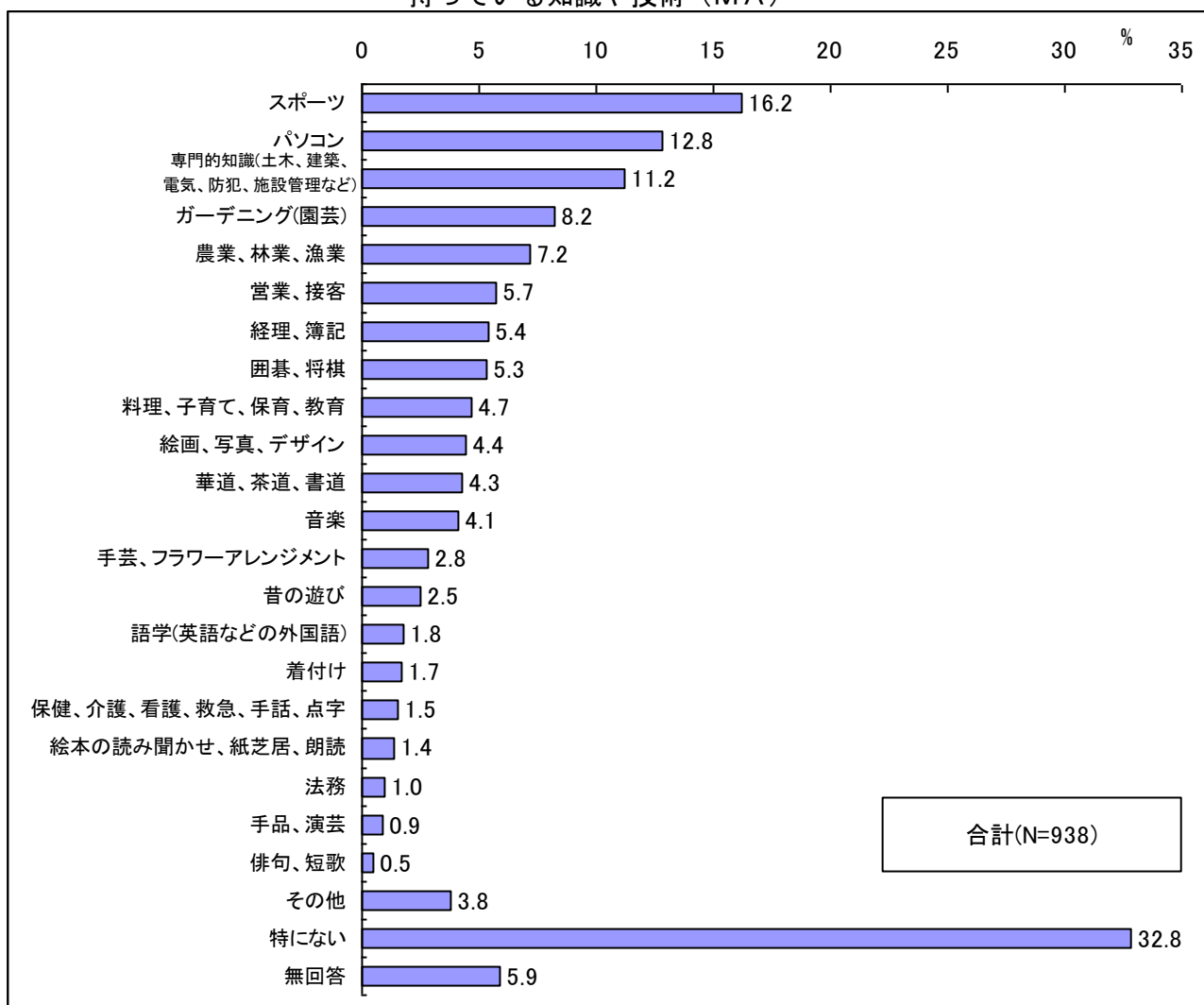
○持っている知識や技術は、「スポーツ」が 16.2%と最も多く、「パソコン」、「専門的知識」が10%を超えている。「ガーデニング(園芸)」、「農業、林業、漁業」等自然を相手とする知識や技術も比較的多い。

持っている知識や技術は、「スポーツ」が 16.2%と最も多く、「パソコン」が 12.8%、「専門的知識」(土木、建築、電気、防犯、施設管理など)が 11.2%と 10%を超えている。

「ガーデニング(園芸)」8.2%、「農業、林業、漁業」7.2%など、自然を相手とする知識や技術も比較的多くなっている。

「特にない」という人は、約3割をしめている。

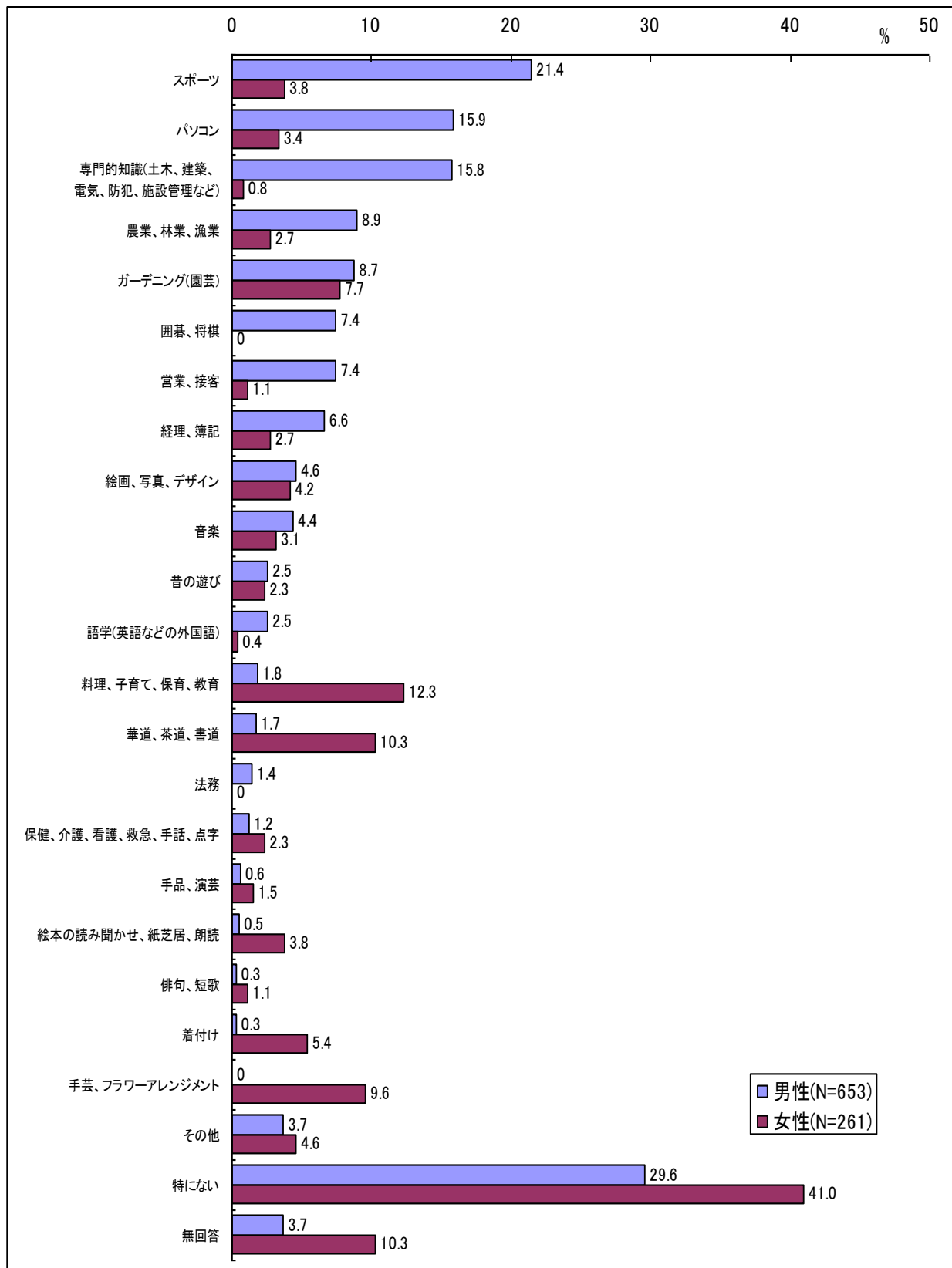
持っている知識や技術 (MA)



男女別にみると、男性は女性と比べ「スポーツ」「パソコン」「専門的知識」「農業、林業、漁業」が多く、女性は男性と比べ、「料理、子育て、保育、教育」「華道、茶道、書道」「手芸、フラワーアレンジメント」が多くなっている。

「特にない」とする人は、女性が41.0%と男性に比べ約10ポイント多くなっている。

持っている知識や技術(男女別) (MA)



## 11. 「ボランティアやNPO活動」で県や市町村に期待する支援

### 問 11

あなたが「ボランティアやNPO活動」に参加するとしたら、県や市町村に期待する支援は何ですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

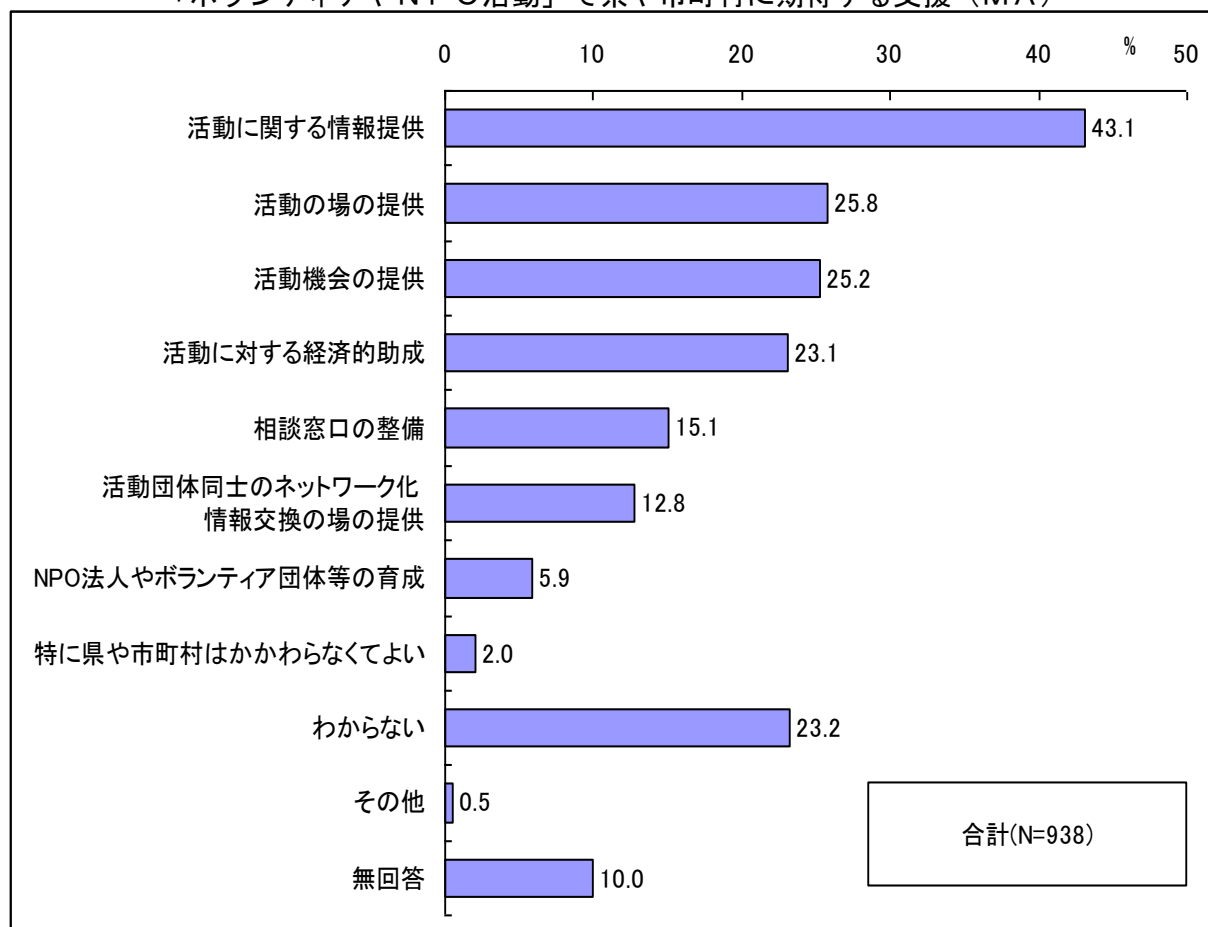
○「ボランティアやNPO活動」で県や市町村に期待する支援としては、「活動に関する情報提供」が43.1%と飛び抜けて多く、日常生活の中でボランティア情報を見る機会がまだまだ少ない表れといえる。

○その他「活動の場の提供」(25.8%)、「活動機会の提供」(25.2%)、「活動に対する経済的助成」(23.1%)を求める人が多い。

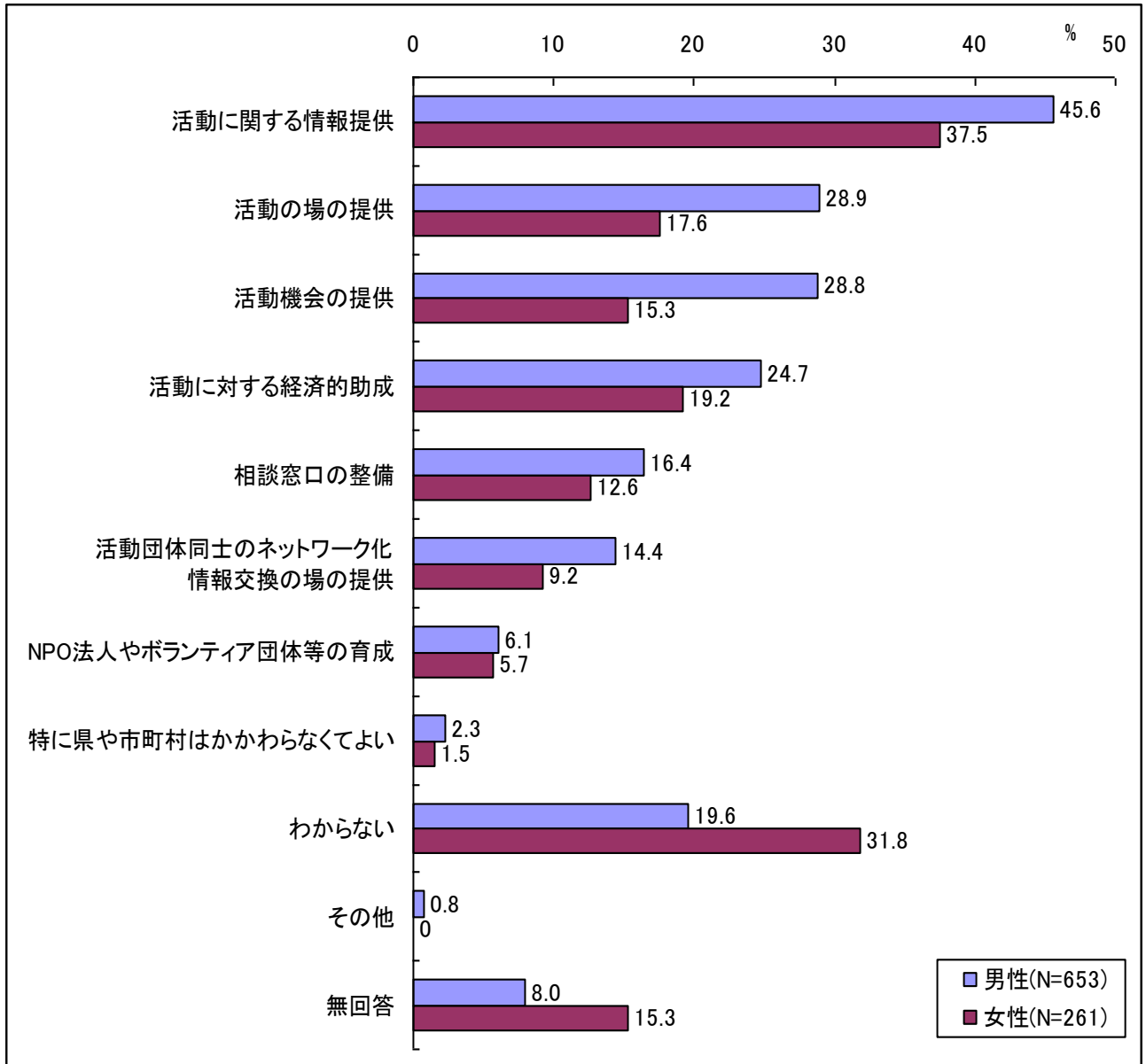
「ボランティアやNPO活動」で県や市町村に期待する支援は、「活動に関する情報提供」が43.1%と飛び抜けて多く、「活動の場の提供」25.8%、「活動機会の提供」25.2%、「活動に対する経済的助成」23.1%が20%台で続いている。

「相談窓口の整備」「活動団体同士のネットワーク化、情報交換の場の提供」は10%台となっている。

「ボランティアやNPO活動」で県や市町村に期待する支援 (MA)



「ボランティアやNPO活動」で県や市町村に期待する支援(男女別) (MA)



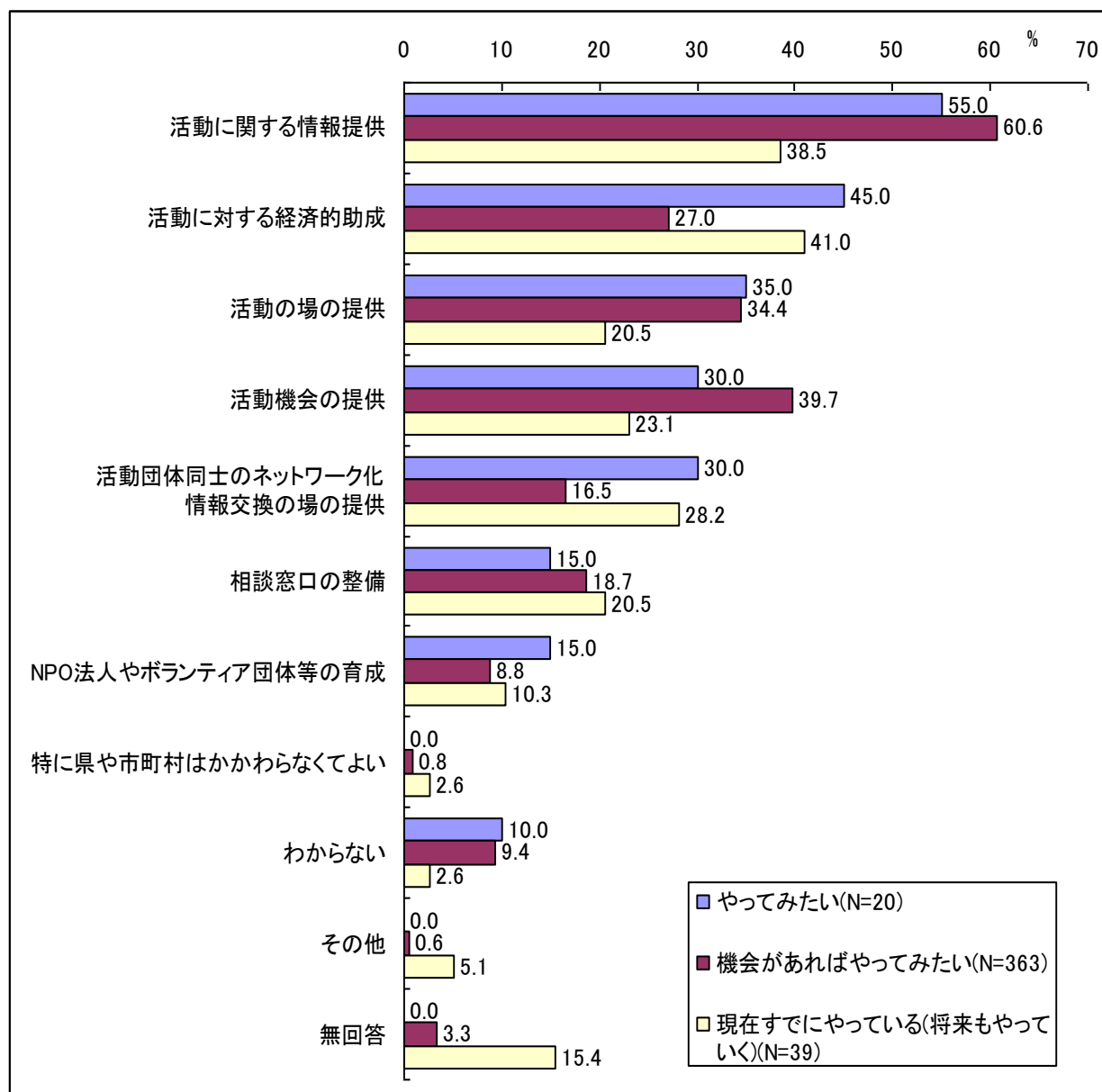


問4の『ボランティアやNPO活動への意識』回答別(『やってみたい』『機会があればやってみたい』『現在すでにやっている(将来もやっていく)』)に、期待する支援策をみると、『やってみたい』人は、「活動に関する情報提供」が最も多く、次いで「活動に対する経済的助成」が多い。また、「活動の場の提供」「活動機会の提供」「活動団体同士のネットワーク化、情報交換の場の提供」も多くなっている。

『機会があればやってみたい』人は、「活動に関する情報提供」が最も多く、次いで「活動機会の提供」「活動の場の提供」が多いのが特徴である。

『現在すでにやっている(将来もやっていく)』人は、「活動に対する経済的助成」が最も多いのが特徴であり、次いで「活動に関する情報提供」が多く、「活動団体同士のネットワーク化、情報交換の場の提供」も多くなっている。

「ボランティアやNPO活動」で県や市町村に期待する支援(問4-1回答別)(MA)



## 12. ボランティアセンターの周知度

### 問 12

あなたは、県や市町村にボランティアセンターが設置されていることを知っていますか。  
次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

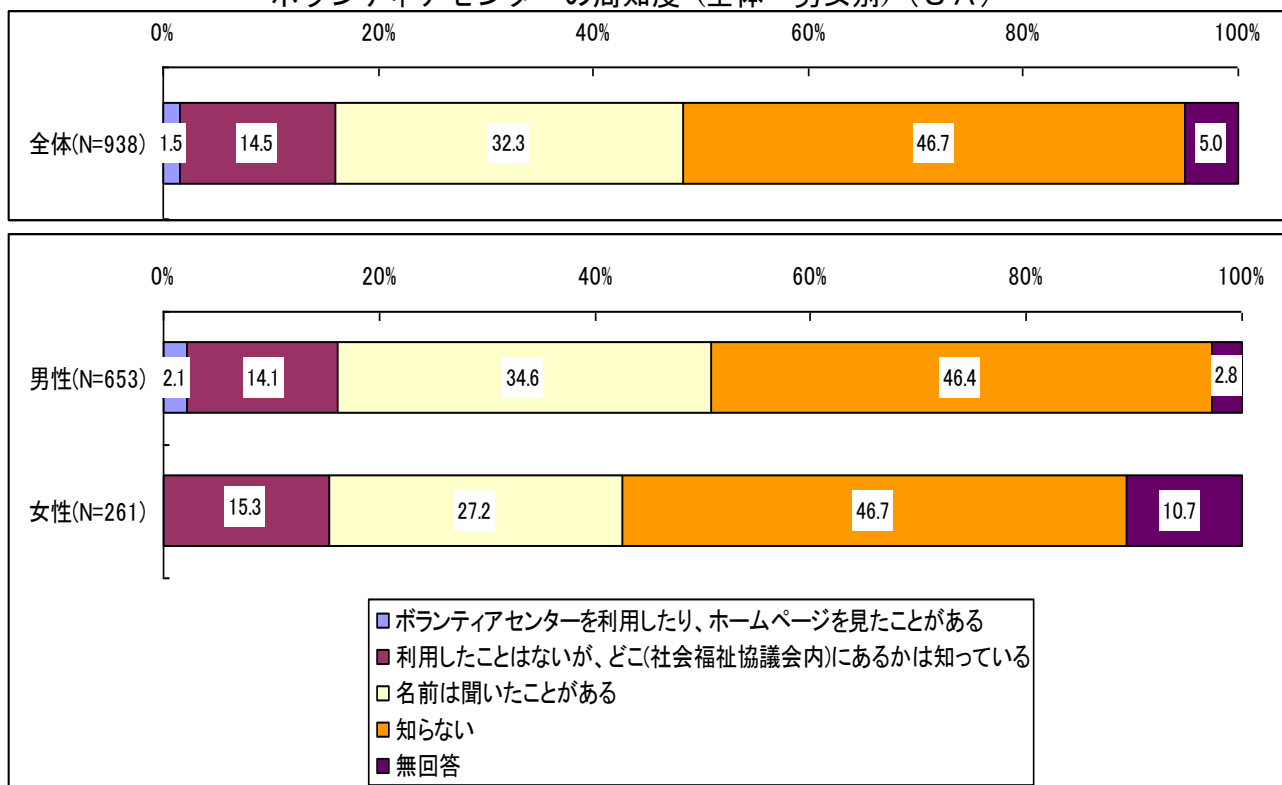
○ボランティアセンターについて尋ねたところ、実際に利用したことのある人がわずか1.5%  
に対して、知らない人は46.7%となっており、今後、センター自体の広報・啓発が求めら  
れる。

ボランティアセンターについては、「ボランティアセンターを利用したり、ホームページを  
見たことがある」が1.5%と少なく、「利用したことはないが、どこ(社会福祉協議会内)にあ  
るかは知っている」が14.5%、「名前は聞いたことがある」は32.3%となっている。

「知らない」は46.7%と約5割をしめている。

男女別にみると、大きな違いはないが、女性は男性に比べ、「名前は聞いたことがある」と  
いう人がやや少なくなっている。

ボランティアセンターの周知度(全体・男女別)(SA)



### 13. ボランティアセンターの利用方法

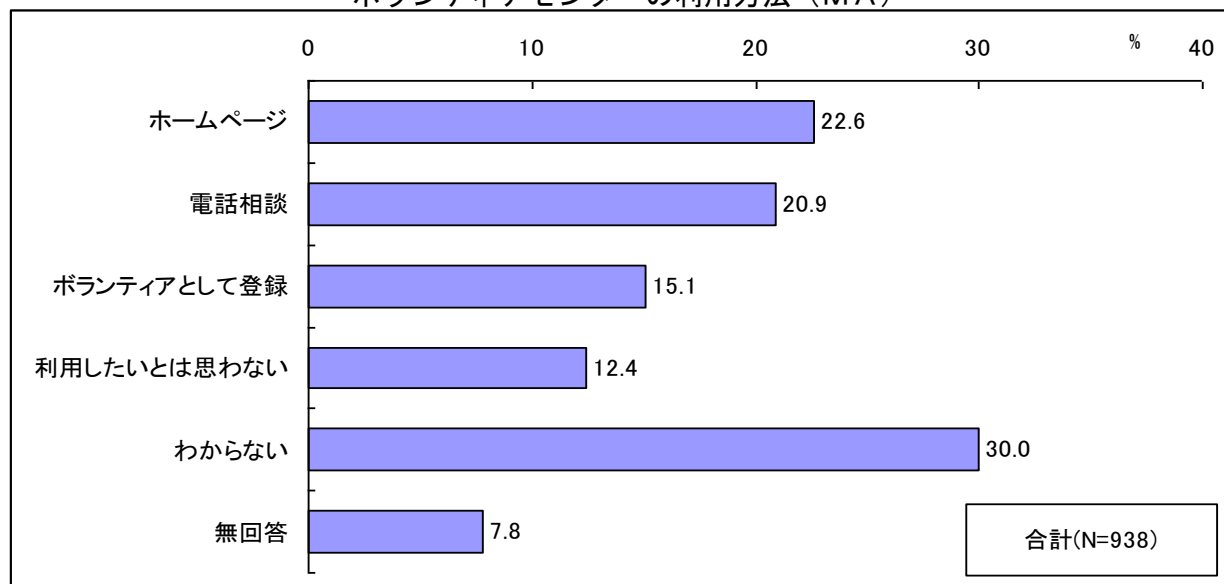
#### 問 13

あなたは、ボランティアセンターを利用するとすれば、どのような方法で利用したいですか。次の中から選んで番号に○をつけてください。(○はいくつでも可)

○ボランティアセンターの利用方法としては、「ホームページ」や「電話相談」という人がそれぞれ 20%強、「ボランティアとして登録」したいという人は 15.1%となっており、今後、情報化への対応が求められている。

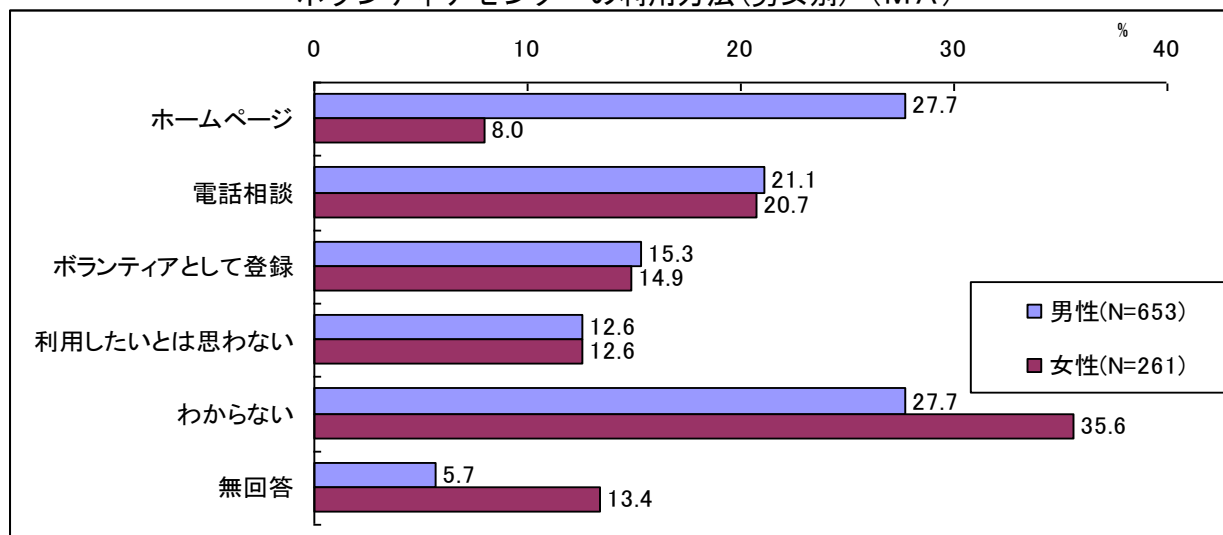
ボランティアセンター利用の方法は、「ホームページ」「電話相談」を介して利用していきたいとする人が 20%強となっており、「ボランティアとして登録」したいという人は 15.1%、「利用したいとは思わない」は 12.4%となっている。

ボランティアセンターの利用方法 (MA)



男女別にみると、男性は女性に比べ、「ホームページ」を介して利用していきたいとする人が多くなっている。

ボランティアセンターの利用方法 (男女別) (MA)



#### 14. 「アクティブシニア地域デビュー講座」への参加

##### 問 14

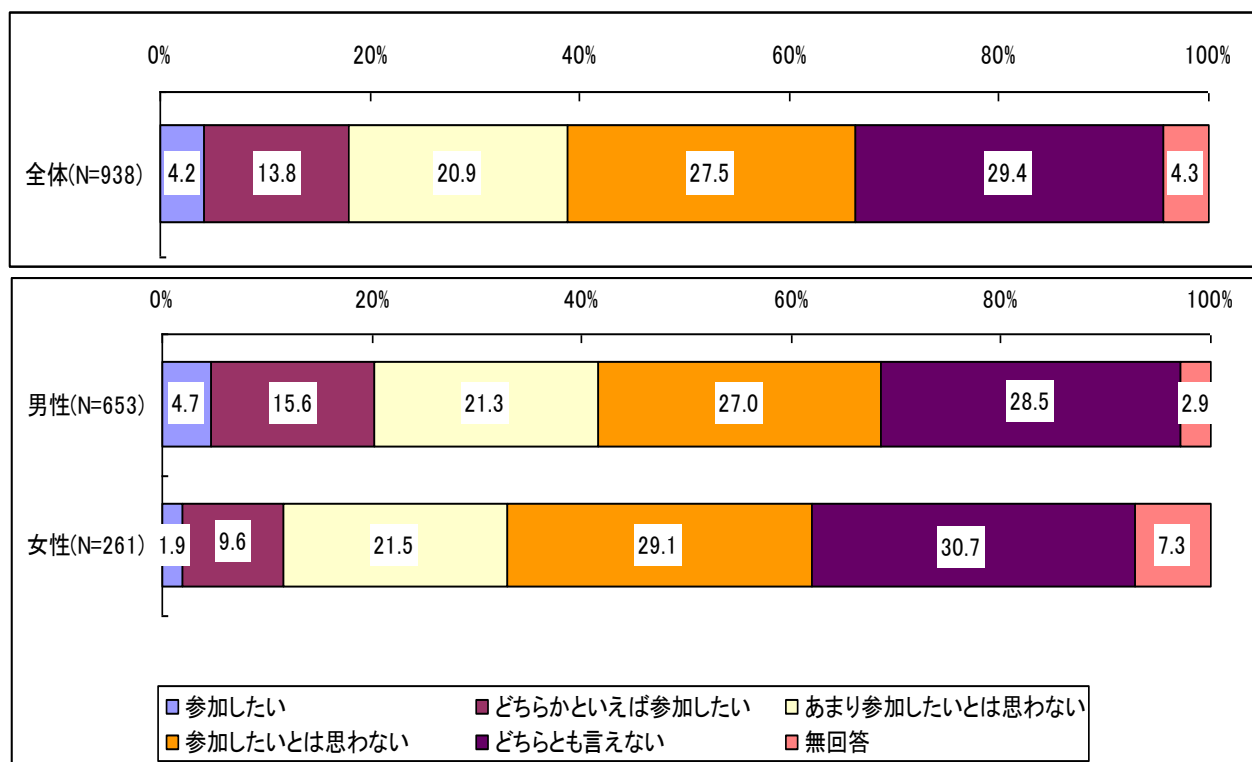
県では、今年度、団塊世代を対象とした「アクティブシニア地域デビュー講座」（詳細別紙のとおり）を開催することにしてはいますが、あなたは、参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

○「アクティブシニア地域デビュー講座」への参加については、参加したいと答えた人が合わせて18.0%に対し、参加したくないと思う人が合わせて48.4%、どちらとも言えないと答えた人が29.4%となっている。

「アクティブシニア地域デビュー講座」への参加は、「参加したい」（4.2%）「どちらかといえば参加したい」（13.8%）が合わせて18.0%に対し、「あまり参加したいとは思わない」（20.9%）「参加したいとは思わない」（27.5%）が合わせて48.4%となっている。

男女別にみると、女性は男性に比べ、「参加したい」「どちらかといえば参加したい」がやや少なくなっている。

「アクティブシニア地域デビュー講座」への参加について(全体・男女別) (MA)



## V. 調査票

### 団塊世代のボランティア活動等に関する意識調査

#### アンケート調査へのご協力をお願い

時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、近年、2007年問題として団塊世代の大量退職が問題視される中、富山県では団塊世代の方々の豊富な経験や知識を地域社会に活かすため、団塊世代の方々を対象に意識調査を実施することといたしました。

については、大変お手数ですが、別紙調査票の記載にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行うために使用し、他の目的に使用することはありません。また、個別の内容を公表したり、ご迷惑をおかけすることはありません。

なお、この調査の集計業務につきましては、(財)北陸経済研究所に委託しております。

平成19年8月

富山県生活環境文化部

#### ご記入にあたってのお願い

- ご記入後は、調査票が入っていた封筒に入れ密封いただき、**8月10日(金)**までにご担当の方にお渡しくくださるようお願いいたします。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 富山県生活環境文化部男女参画・ボランティア課  
ボランティア係 担当：喜多  
TEL 076-444-9012 FAX 076-444-3479

## 団塊世代のボランティア活動等に関する意識調査 調査票

はじめに、あなたご自身のことについてお聞きします。それぞれの項目ごとに、該当する番号に○をつけてください。

性別		1 男性	2 女性	生まれた年	昭和	年
職業	業種	1 土木・建設業	2 製造業	3 電気・ガス	4 情報通信業	
		5 卸売・小売業	6 運輸業	7 金融・保険業	8 不動産業	
		9 サービス業	10 官公庁	11 その他(具体的に	)	
	仕事の内容	1 事務	2 営業	3 生産・技術	4 その他(具体的に:	)
	役職等	1 会社・団体役員	2 管理職	3 一般職		
世帯構成		1 ひとり暮らし	2 一世代世帯(夫婦のみ)	3 二世帯世帯(親と同居)		
		4 二世帯世帯(子と同居)	5 三世帯世帯	6 その他(	)	
現在の居住地に住み始めてからの期間		1 30年以上	2 20年以上～30年未満	3 10年以上～20年未満		
		4 5年以上～10年未満	5 5年未満			
パソコンの使用状況		1 よく使っている	2 たまに使っている			
		3 ほとんど使っていない	4 使ったことがない			
インターネットの活用状況		1 よく使っている	2 たまに使っている			
		3 ほとんど使っていない	4 使ったことがない			

### 【仕事についておたずねします。】

問1 あなたは、退職予定まで、あと何年でしょうか。次の中から**1つだけ**選んで番号に○をつけてください。

- 1 1年以内                      2 2年以内                      3 3年以内  
4 5年以内                      5 8年以内                      6 その他(                      )

問2 あなたは、ご自分の再就職(継続雇用)の確率は何%と思われますか。**左欄の中から最も近い確率を1つだけ**選んで番号に○をつけてください。また再就職の期間は何年ほどを想定していますか。**右欄の中から1つだけ**選んで番号に○をつけてください。

<再就職(継続雇用)の確率>	<再就職の期間>
1 100%	1 1年以内
2 70%	2 2年以内
3 50%	3 3年以内
4 30%	4 5年以内
5 10%	5 5年超
6 0%	6 わからない
7 わからない	

問3 あなたは、退職後に向けて、何か準備されていますか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1 再就職に向けての資格取得 | 2 人脈づくり    |
| 3 健康管理や老化防止    | 4 貯蓄・財産づくり |
| 5 趣味・地域活動への参加  | 6 何もしていない  |
| 7 その他 ( )      |            |

問4 仕事以外の活動についておたずねします。あなたは、これから、次のような活動をやってみたいとお考えですか。それぞれの選択肢で該当するところに1つだけ○をつけてください。(○は各選択肢ごとに1つだけ)

選択肢	やってみたい	機会があればやってみたい	現在すでにやっている(将来もやっていく)	やってみたくないと思わない
【記入例】1 ボランティア・NPO活動		○		
<b>1 ボランティア・NPO活動</b>				
2 自治会、町内会の活動				
3 趣味やスポーツなどのサークル活動				
4 起業・創業				

(注) NPO…NPOとは、民間非営利組織(営利を目的とせず社会貢献活動を行う組織)をいいます。

【ボランティア・NPO活動についておたずねします。】

問5 問4で『1ボランティア・NPO活動』について「機会があればやってみたい」に○をつけた方におたずねします。あなたにとって「機会」とは何ですか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1 一緒に活動する仲間がいる      | 2 時間にゆとりができる |
| 3 参加を呼びかける団体・世話役がある | 4 技術・経験が活かせる |
| 5 市町村等の広報誌等を見て      | 6 その他 ( )    |

問6 問4で『1ボランティア・NPO活動』について「やってみたい」「機会があればやってみたい」「現在すでにやっている」に○をつけた方におたずねします。あなたが「ボランティアやNPO活動」に参加している(してみたい)理由は何でしょうか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1 自分の経験や技術を活かしたい | 2 色々な人と交流できる  |
| 3 社会や人のために貢献したい  | 4 時間を有効に活用したい |
| 5 地域との関係を強めるため   | 6 自分の健康のため    |
| 7 自分の生きがいのため     | 8 知り合いに誘われたから |
| 9 活動自体が楽しい       | 10 その他 ( )    |

問7 あなたが「ボランティアやNPO活動」に参加するとしたら、どのような分野に挑戦してみたいと思いますか。挑戦してみたいとお考えの分野の欄に○をつけてください。なお、現在すでにやっている活動は該当する欄に○をつけてください。(○はいくつでも可)

分 野	これからやってみたい活動	現在やっている活動
【記入例】 1 福祉、保健又は医療		○
【記入例】 4 環境・自然保護	○	
1 福祉、保健又は医療		
2 芸術・文化		
3 生涯学習		
4 環境・自然保護		
5 国際交流・協力		
6 児童・青少年の健全育成		
7 スポーツ・レクリエーション		
8 災害救援・防災		
9 まちづくり		
10 防犯・交通安全		
11 人権擁護、平和の推進		
12 男女共同参画社会の推進		
13 情報化社会の発展		
14 職業能力の開発又は雇用機会の拡充		
15 消費生活		
16 その他 ( )		
17 特にない		

問8 あなたが「ボランティアやNPO活動」に参加するとしたら、いつ頃から参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1 すでに参加している    | 2 すぐにでも参加したい    |
| 3 再就職期間中に参加したい | 4 再就職先を退職後参加したい |
| 5 特に参加したいと思わない | 6 その他 ( )       |

問9 あなたが「ボランティアやNPO活動」に参加するとしたら、どこで参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

- |          |           |                |
|----------|-----------|----------------|
| 1 居住市町村内 | 2 隣接市町村まで | 3 県内ならどこでも     |
| 4 国内     | 5 海外      | 6 特に参加したいと思わない |



問 10 あなたは、いままでの経験などから、どのような知識や技術を持っていますか。(人に作品や演技などを見せたり、初めての人に教えることができる程度のレベルで、資格や段位がなくても結構です。)次の中から選んで番号に○をつけてください。(○はいくつでも可)

- |                                 |                      |              |
|---------------------------------|----------------------|--------------|
| 1 華道、茶道、書道                      | 2 俳句、短歌              | 3 囲碁、将棋      |
| 4 絵画、写真、デザイン                    | 5 音楽                 | 6 スポーツ       |
| 7 手芸、フラワーアレンジメント                | 8 着付け                | 9 ガーデニング(園芸) |
| 10 手品、演芸                        | 11 絵本の読み聞かせ、紙芝居、朗読   |              |
| 12 昔の遊び                         | 13 パソコン              | 14 経理、簿記     |
| 15 法務                           | 16 営業、接客             |              |
| 17 料理、子育て、保育、教育                 | 18 保健、介護、看護、救急、手話、点字 |              |
| 19 農業、林業、漁業                     | 20 語学(英語などの外国語)      |              |
| 21 専門的知識・技術(土木、建築、電気、防犯、施設管理など) |                      |              |
| 22 その他( )                       | 23 特にない              |              |

【県等の支援についておたずねします。】

問 11 あなたが「ボランティアやNPO活動」に参加するとしたら、県や市町村に期待する支援は何ですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 1 活動に関する情報提供               | 2 相談窓口の整備     |
| 3 活動機会の提供                  | 4 活動の場の提供     |
| 5 活動団体同士のネットワーク化、情報交換の場の提供 |               |
| 6 NPO法人やボランティア団体の育成        | 7 活動に対する経済的助成 |
| 8 特に県や市町村はかかわらなくてよい        | 9 わからない       |
| 10 その他( )                  |               |

問 12 あなたは、県や市町村にボランティアセンターが設置されていることを知っていますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1 ボランティアセンターを利用したり、ホームページを見たことがある   |
| 2 利用したことはないが、どこ(社会福祉協議会内)にあるかは知っている |
| 3 名前は聞いたことがある                       |
| 4 知らない                              |

問 13 あなたは、ボランティアセンターを利用するとすれば、どのような方法で利用したいですか。次の中から選んで番号に○をつけてください。(○はいくつでも可)

- |               |         |               |
|---------------|---------|---------------|
| 1 ホームページ      | 2 電話相談  | 3 ボランティアとして登録 |
| 4 利用したいとは思わない | 5 わからない |               |

問 14 県では、今年度、団塊世代を対象とした「アクティブシニア地域デビュー講座」(詳細別紙のとおり)を開催することにしていますが、あなたは、参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 参加したい          | 2 どちらかと言えば参加したい |
| 3 あまり参加したいとは思わない | 4 参加したいとは思わない   |
| 5 どちらとも言えない      |                 |